



はじめに

教務部長

ご入学おめでとうございます。金城学院大学の一員となられた皆様に心からのお祝いを申し上げます。

さて、これまでの学生生活と比べて、大学ではさらに「自立と自律」が求められます。これまではある程度決まった授業時間割があって、それに従って授業を受けていた方が多いと思います。しかし、大学では、必ず受けなければならない必修という科目以外は、自分ですべての授業を自主的に自立して選んでいくことになります。つまり、それぞれが自分の学びたい学問、興味・関心に従って、自分だけのオリジナルの授業時間割を自分で作っていくのです。その時に必要になってくるのが、「履修要覧」と「シラバス」です。

履修要覧には大学での学びにおける手順やルールが掲載されています。大学では、この履修要覧の内容をみなさんが理解したものとして、様々なことが進んでいきます。ぜひ、しっかりと読み込んで、理解してください。履修要覧は、全学部の学生さんにとって必要なことをまとめた「大学編」と、それぞれの学部別に必要なことをまとめた「学部編」から構成されています。大学編には「知らなかった」ではすまされない卒業に関わる重要事項などが満載です。また、学部編には、所属する学部・学科の独自のルールや科目一覧（課程表）、資格に関する情報が掲載されています。**なお、この履修要覧は卒業するまで使用します。**折にふれて見直せるよう、大事に保管してください。

シラバスという言葉も聞きなれないかもしれません。簡単に言えばシラバスとは授業案内のことで、すべての科目についてシラバスがあります。それぞれの授業に関して、授業を担当する教員名・開講される学年・開講される曜日や時間・授業の概要や到達目標・授業の内容（授業計画）などが記されています。このシラバスを参考にしながら、自分の学びたいことはなんだろう？自分の学びたいことと合っているかな？と考えて、授業を選択していきます。

最初に述べましたように、大学では「自立と自律」が求められます。これからは大人の女性として責任を持って行動することも求められます。つまり、自主的な行動で「自立」し、自分で自分の行動に責任を持って自らを律する「自律」という「自立と自律」が求められるのです。それは社会人としてひとり立ちしていくための準備期間とも言えるでしょう。私たち教職員は全力でそのサポートをしていきたいと思っています。もし、不安なことや疑問に思うことがあったら、ぜひ教職員に勇気を出して質問してみてください。質問する勇気を持つことが社会人になるための第一歩かもしれません。みなさんが金城学院大学で素晴らしい時間を送られることを心より祈っています。

【 学 部 編 】

I	ポリシー	
1	ディプロマ・ポリシー	学部 1
2	カリキュラム・ポリシー	学部 3
II	卒業要件単位数（詳細）	
1	卒業要件単位数（詳細）	学部 7
III	学科独自の制度	
1	単位認定の対象となる検定試験等とその認定基準について	学部 8
IV	科目分類番号	
1	科目分類番号について	学部 9
V	共通教育科目等の課程表	
1	共通教育科目等 課程表	学部 10
VI	専門教育科目のカリキュラム・ツリーおよび課程表	
1	カリキュラム・ツリー	学部 20
2	日本語日本文化学科 古典文化コース 課程表	学部 24
3	日本語日本文化学科 近現代文化コース 課程表	学部 28
4	日本語日本文化学科 日本語学・日本語教育コース 課程表	学部 32
5	英語英米文化学科 英米文化研究コース 課程表	学部 36
6	英語英米文化学科 英語研究コース 課程表	学部 40
7	外国語コミュニケーション学科 課程表	学部 44
8	音楽芸術学科 ピアノコース 課程表	学部 49
9	音楽芸術学科 声楽コース 課程表	学部 52
10	音楽芸術学科 管楽器コース 課程表	学部 55
VII	教免取得に関する教育課程表	
1	中高免教職課程について	学部 58
VIII	各種資格	
1	学校図書館司書教諭資格について	学部 68
2	司書資格について	学部 68
3	博物館学芸員資格について	学部 69

1 ディプロマ・ポリシー

[1] 大学ディプロマ・ポリシー

本学では、4年（薬学部は6年）以上本学に在学し、各学科が定める卒業要件総単位数を修得し、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

（知識・技能）

1. キリスト教的価値観を基盤として豊かな人間性を支える教養を身につけている。
2. 新しい時代にふさわしい専門的知識や技能を身につけている。

（思考力・実践力）

3. 身につけた知識や技能を生かし、諸問題に対処することができる。
4. 自ら問題を見出し、適切な分析と考察に基づいて解決策を見いだし、実践に移すことができる。

（コミュニケーション力）

5. 相手の意見をきちんと聞き理解するとともに、自らの考えを適切に表現し伝えることができる。
6. 発信するべき自らの意見や立場について常に考える姿勢を身につけている。

[2] 文学部ディプロマ・ポリシー

文学部では、4年以上在学し、各学科が定める卒業要件総単位数を修得し、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

（知識・技能）

1. 豊かな人間性を支える教養を身につけている。
2. 言語の高度な運用能力、あるいは音楽芸術を高度に演奏する技能を身につけている。
3. 言語や文化に関する専門的知識、あるいは音楽芸術に関する専門的知識を身につけている。

（思考力・実践力）

4. 言語や文化、あるいは音楽やその奏法に関する問題について、その領域が求める研究方法を用いて適切に分析し考察することができる。
5. 言語学や文化学、あるいは音楽芸術の実技や理論を通じて身につけた思考力を応用し、物事を論理的に考え、分析し、判断することができる。

（コミュニケーション力）

6. 自らの考えを言語あるいは音楽実技で適切に表現し伝えることができる。
7. 他者の立場や見解を理解しつつ、自らの意見を発信することができる。

[3] 日本語日本文化学科ディプロマ・ポリシー

日本語日本文化学科では、4年以上在学し、128単位以上を修得し、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

（知識・技能）

1. 豊かな人間性を支える教養を身につけている。
2. 日本語の幅広い知識や高度な運用能力を身につけている。
3. 日本の文化や文学に関する専門的知識を身につけている。

（思考力・実践力）

4. 日本の文化または日本語に関する問題について、日本文化学・日本文学や日本語学の研究方法を用いて適切に分析し考察することができる。
5. 日本文化学・日本文学や日本語学を通じて身につけた思考力を応用し、物事を論理的に考え、分析し、判断することができる。

（コミュニケーション力）

6. 自らの考えを正確な日本語で適切に表現し伝えることができる。
7. 他者の立場や見解を理解しつつ、自らの意見を発信することができる。

[4] 英語英米文化学科ディプロマ・ポリシー

英語英米文化学科では、4年以上在学し、128単位以上を修得し、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

(知識・技能)

1. 豊かな人間性を支える教養を身につけている。
2. 英語の高度な運用能力を身につけている。
3. 英米の文化や英語に関する専門的知識を身につけている。

(思考力・実践力)

4. 英米の文化または英語の問題について、英米文化学・英米文学や英語学・言語学の研究方法を用いて適切に分析し考察することができる。
5. 英米文化学・英米文学や英語学・言語学を通じて身につけた思考力を応用し、物事を論理的に考え、分析し、判断することができる。

(コミュニケーション力)

6. 自らの考えを日本語と英語で適切に表現し伝えることができる。
7. 他者の立場や見解を理解しつつ、自らの意見を発信することができる。

[5] 外国語コミュニケーション学科ディプロマ・ポリシー

外国語コミュニケーション学科では、4年以上在学し、124単位以上を修得し、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

(知識・技能)

1. 豊かな人間性を支える教養を身につけている。
2. 英語ともう一つの外国語（中国語・フランス語・ドイツ語のいずれか）の高度な運用能力を身につけている。
3. 日本をふくむ世界のさまざまな文化に関する専門知識を身につけている。

(思考力・実践力)

4. 世界の文化や言語の諸問題について、多様な研究方法を用いて適切に分析し考察することができる。
5. 身につけた知識を応用し、物事を論理的に分析し、判断することができる。

(コミュニケーション力)

6. 自らの考えを日本語・英語ともう一つの外国語で適切に伝えることができる。
7. 他者の立場を理解しつつ、自らの意見を発信することができる。

[6] 音楽芸術学科ディプロマ・ポリシー

音楽芸術学科では、4年以上在学し、124単位以上を修得し、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与する。

(知識・技能)

1. 豊かな人間性を支える教養を身につけている。
2. 音楽芸術を高度に演奏する技能を身につけている。
3. 音楽芸術に関する専門的知識を身につけている。

(思考力・実践力)

4. 楽曲やその演奏を、音楽芸術の研究方法を用いて適切に分析し考察することができる。
5. 音楽芸術の実技や理論を通じて身につけた思考力を応用し、物事を論理的に考え、分析し、判断することができる。

(コミュニケーション力)

6. 自らの考え方や楽想を、音楽芸術の実技、言葉で適切に表現し伝えることができる。
7. 他者の楽曲解釈、立場や見解を理解しつつ、自らの演奏表現、楽曲解釈や意見を発信することができる。

2 カリキュラム・ポリシー

〔1〕大学カリキュラム・ポリシー

1. 本学では、学生がキリスト教的価値観を基盤として豊かな人間性を支える教養を身につけるように、全学共通カリキュラムである「共通教育科目」(1~4年次(薬学科以外の学科)/1~6年次(薬学科)、必修および選択必修として30単位、ただし外国語コミュニケーション学科は22単位、音楽芸術学科は28単位、薬学科は36単位)を設置する。

具体的には、「I 建学の精神を学ぶ科目」(金城アイデンティティ科目)として「①キリスト教」、「②女性」、「③国際理解」の科目群を置き、建学の精神を具現化する。

「II 現代社会の教養の基礎となる科目」として「④教養科目」を置き、人間としてのあり方や生き方に関する機会を提供するとともに、社会人の基礎力を養成する。

「III 現代社会に必要なリテラシーを身につける科目」として「⑤英語教育科目」、「⑥外国語教育科目」を置き、異文化に生きる人々とのコミュニケーション手段と自文化を相対化する視点を獲得させる。同時にグローバル社会に生きるために必要な心の姿勢を身につけさせる。「⑦情報教育科目」を置き、情報化社会で生きていくために必要となる知識や技能を身につけさせる。「⑧キャリア開発教育科目」を置き、仕事や職業だけではない、人生としてのキャリアを重視した教育を行い、人生を積極的に切り開く主体性を培う。

「IV スポーツを通じて健康増進を図る科目」として「⑨S&E教育科目」を置き、生涯にわたっての健康づくりを支援する。

「V 実践から学ぶ科目」として「⑩海外研修科目」、「⑪学生プロジェクト科目」を置き、実体験を通した学習の重要性を理解するとともに、能動的に学ぶ姿勢を身につけさせる。

2. 学生が教育職員免許状授与の所要資格を得られるように、「教職に関する科目」を設置する。

3. 外国人留学生が日本語運用能力の向上を図り、日本文化について幅広く学習できるように、「日本語科目・日本事情に関する科目」を設置する。

4. 学生が新しい時代にふさわしい専門的知識や技能を身につけるように、各学部・学科に「専門教育科目」を設置し、カリキュラム・ポリシーは別に定める。

5. 学生が興味に応じて幅広く学習できるように、共通教育科目および他学部他学科の専門教育科目を自由に履修できる「自由履修制度」(1~4年次選択28単位、音楽芸術学科、多元心理学科は26単位、食環境栄養学科は3単位、国際情報学科は22単位、薬学科を除く)を置き、積極的な学習を奨励する。

6. 学生が身につけた知識や技能を生かし、諸問題に対処する力を養うように、「演習科目」を設置する。

7. 学生が相手の意見をきちんと理解するとともに、自らの考えを適切に伝えることができる力を養うように、少人数クラスの「演習科目」を通じて、プレゼンテーションとディスカッションを重視した教育を行う。

8. 学生が自ら問題を発見し、適切な分析と考察に基づいて解決策を見いたし、実践に移すことができる力を養うように、授業において課題を課し、その評価を行う。

9. 学生が発信するべき自らの意見や立場について常に考える姿勢を身につけるように、「専門教育科目」、「共通教育科目」および「演習科目」を通じて積極的かつ発展的に考えるよう指導する。

〔2〕文学部カリキュラム・ポリシー

文学部では、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施する。

1. 学生が豊かな人間性を支える教養を身につけるように、全学共通のカリキュラムである【共通教育科目】(必修および選択30単位、外国語コミュニケーション学科は22単位、音楽芸術学科は28単位)を通じて、社会人基礎力をはじめ、社会で生きていくために必要となる幅広い知識や技能を教育する。

2. 学生が日本語または外国語の高度な運用能力を身につけるように、【基幹科目】を設置し、言語運用能力を高める教育を行う。一部プログラムでは、これを【演習科目】においても行う。音楽芸術学科では、学生が高度な音楽技能を身につけるように【基幹科目】を設置し指導する。

3. 学生が日本または外国の文化や言語に関する専門的知識を身につけるように、【基礎科目】において入門と概論を教育するとともに、【展開科目】において発展的内容を教育する。音楽芸術学科では、学生が音楽の一般理論に関する深い知識を身につけるように【基礎科目】と【展開科目】を通じて教育する。
4. 学生が文化学・文学や言語学の研究方法を用いて適切に分析し考察する力を養うように、【演習科目】を設置し、身につけた知識を用いて問題を解決する演習を行う。音楽芸術学科では、音楽の作品・演奏解釈について自分で分析し考察する力を身につけるように【演習科目】において教育する。
5. 学生が物事を論理的に考え、分析し、判断する力を養うように、【基礎科目】、【展開科目】および【演習科目】を通じて、常に考えさせる指導を行う。
6. 学生が自らの考えを日本語や外国語、あるいは演奏で適切に表現し伝える力を養うように、【基幹科目】と【演習科目】を通じて、言語表現や音楽表現の技術を指導する。
7. 学生が他者の立場や見解を理解しつつ、自らの意見を発信する力を養うように、【演習科目】を通じて、プレゼンテーションとディスカッションの指導を行うとともに意見交換を重視した教育を行う。

[3] 日本語日本文化学科カリキュラム・ポリシー

日本語日本文化学科では、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施する。

1. 学生が日本の文化や文学、日本語を深く理解するまでの基本的な知識を身につけるように、【基礎科目】に、1年次の必修科目を計4科目（計8単位）設置し、古代から近現代に至るまでの日本文化および日本文学の全体像や、日本語に関する入門知識について指導する。
2. 学生が文章を正確に読解し、自らの文章として正確かつ美しく表現する能力を身につけるように、【基幹科目】を通じて、学科の専門性を活かした知識や日本語運用能力のさらなる向上を図るよう指導する。
3. 日本の伝統芸能や日本文化に関する専門知識と作法を体験的に身につけることを目指す学生のために、【基幹科目】に、「日本文化実習A～D」、「書道A～D」（各1単位）を設置し、茶道、華道、香道、狂言、書道について、豊富な実習を交えながら教育する。
4. 学生が自ら選択したコースの豊富で専門的な教養を身につけるように、【基幹科目】および【展開科目】に、各コースに応じた科目群をそれぞれ設置し、それぞれのコースにおける専門的かつ高度な知識について指導する。
5. 図書館司書資格、学校図書館司書教諭資格、あるいは、博物館学芸員資格の取得を目指す学生のために、【展開科目】に、それぞれの資格取得に必要な科目を設置する。それらの科目により、それぞれの資格取得に必要な技能や専門的知識を教育する。
6. 学生が分野を超えた幅広い文化知識を身につけるように、【展開科目】に、文学部他学科との交流科目を設置し、他地域他分野を横断する多様で豊富な知識を教育する。
7. 学生が、自ら選択したコースの高度な専門知識と研究方法を学び、適切に分析し考察する力を身につけるように、【演習科目】に、2～3年次の「日本文化演習(1)～(4)」と4年次の「卒業論文演習(1)、(2)」（各1単位）を設置し、それぞれの専門分野の問題を適切に表現し、伝える能力を指導する。

[4] 英語英米文化学科カリキュラム・ポリシー

英語英米文化学科では、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施する。

1. 学生が英語の高度な運用能力を身につけるように、1年次から4年次までの必修科目（31単位）として、「Teacher-Student English Interview」、「Reading/Writing」、「Speaking/Writing」、「Listening/Pronunciation」、「Extensive English」、「Business Communication」、「English Grammar」を【基幹科目】に設置し、読む、聞く、書く、話すの4技能を教育する。
2. 通訳の専門技能を身につけることを目指す学生のために、2年次の【展開科目】に「通訳入門」（選択4単位）、3～4年次の【演習科目】に「通訳演習」（必修8単位）を設置し、英語の運用能力と通訳技法を教育する。
3. 学生が英米の文化や英語に関する専門的知識を身につけるように、1年次の必修科目（8単位）

として英米文化・英米文学および英語学・言語学の授業科目を【基礎科目】に設置し、概論を教育するとともに、2年次以降の必修・選択科目(25単位)を【展開科目】に設置し、英語、英米文化・英米文学および英語学・言語学の発展的な内容を教育する。

4. 学生が文化学・文学や言語学の研究方法を用いて適切に分析し考察する力を身につけるように、3・4年次の必修科目(4単位)として「専門演習」を【演習科目】に設置し、英米文化・英米文学または英語・言語に関するさまざまな問題に取り組む演習を行う。
5. 学生が物事を論理的に考え、分析し、判断する力を養うように、【基礎科目】、【展開科目】および【演習科目】を通じて、常に考えさせる指導を行う。
6. 学生が自らの考えを日本語で適切に表現し伝える力を養うように、1年次から4年次までの必修科目(6単位)である【演習科目】を通じて、効果的なプレゼンテーションの技術を指導するとともに、プレゼンテーションの訓練を行う。
7. 学生が自らの考えを英語で適切に表現する力を養うように、1年次から4年次までの必修科目(31単位)である「Teacher-Student English Interview」、「Reading/Writing」、「Speaking/Writing」、「Listening/Pronunciation」、「Extensive English」、「Business Communication」、「English Grammar」を通じて、英語による発信の訓練を行う。
8. 学生が他者の立場や見解を理解しつつ、自らの意見を発信する力を養うように、1年次から4年次までの必修科目(6単位)である【演習科目】を通じて、プレゼンテーションとディスカッションの指導を行うとともに、意見交換を重視した教育を行う。

[5] 外国語コミュニケーション学科カリキュラム・ポリシー

外国语コミュニケーション学科では、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施する。

1. 学生が英語ともう一つの外国語(中国語・フランス語・ドイツ語のいずれか)の高度な運用能力を身につけるために、【基幹科目】に、1年次「初級外国語」(必修6単位、選択6単位)、2年次「中級外国語」(必修6単位、選択6単位)、3年次「上級外国語」(選択2単位)を設置し、2つの外国語を段階的に徹底して教育する。
2. 日本語教師の専門技能を身につけることを目指す学生のために、【展開科目】(選択24単位)に日本語教育プログラムを設置し、日本語教育に必要な知識と方法を教育し、実践的な教授技術も指導する。
3. 学生が外国語と関わる文化を学ぶために、【基礎科目】(必修6単位、選択4単位)に文化入門を設置し、基礎的内容を教育すると共に、【展開科目】に地域研究・英語文化圏科目群を設置し、発展的内容を教育する。研修科目群を設置し、体験から文化理解ができるように指導し、文学部リベラルアーツにより、思想・文学・芸術への理解を深める教育を行う。
4. 学生が多様な研究方法を用いて考察する力を身につけるために、【基礎科目】に海洋コース・大陸コースの入門を設置し、研究方法の基礎を教育すると共に、【展開科目】に理論研究科目群を設置し、発展的内容を教育する。【演習科目】(必修8単位)に「専門演習」を設置し、言語や文化に関する諸問題を研究できるように指導を行う。
5. 学生が物事を論理的に分析し、判断する力を養うために、【基礎科目】、【展開科目】および【演習科目】を通じて、学生自身に考えさせる指導を行う。
6. 学生が自らの考えを日本語で適切に伝える力を養うために、「基礎演習」と「専門演習」を通して、効果的なプレゼンテーションの技術を指導する。
7. 学生が自らの考えを外国語で適切に伝える力を養うために、【基幹科目】に設置された科目を通して、外国語で発信する訓練を行うと共に、海外キャリアアッププログラムを設置し、学生が外国語を実践的に使う機会を提供することで、外国語の運用能力を高める教育を行う。
8. 学生が他者の立場を理解しつつ、自らの意見を発信する力を高めるために、【基礎科目】に必修科目の「ディベート入門」と選択科目の「ディベート」を設置し、ディベートの指導を行う。あわせて【演習科目】でも、プレゼンテーションとディスカッションの指導を行うことで、意見交換を重視した教育を行う。

[6] 音楽芸術学科カリキュラム・ポリシー

音楽芸術学科では、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施する。

1. 学生が音楽を学ぶ上で基礎的な技能を身につけるように、「ソルフェージュ」、「音楽理論」を1年次の必修科目（4単位）として【基礎科目】（10単位必修）に設置し、基盤となる知識と理解力を養うよう指導する。
2. 学生が高度な音楽技能を身につけるように、ピアノ・声楽・管楽器のコースごとに「ピアノ奏法(1)～(8)」、「声楽(1)～(8)」、「管楽器奏法(1)～(8)」を【基幹科目】（1年次～4年次、12単位必修）として設置し、いずれかのコースで12単位の修得を必須として演奏に必要な技能を継続的に教育する。
3. 学生が音楽の歴史や芸術の一般理論に関する深い知識を身につけるように、「西洋音楽史」等の科目を2年次の必修科目（6単位）として【基礎科目】に設置するとともに、音楽を育んだ文化を幅広く学ぶために、「音楽と文学」等の科目を【展開科目】（40単位選択必修）に設置し、広範な専門的知識と幅広い教養を培うよう指導する。
4. 学生が指導を通して作品の奥深い解釈を学ぶとともに鑑賞の方法を身につけるように、「音楽鑑賞A・B」、「邦楽鑑賞」を【展開科目】に設置し、豊かな演奏能力を養うために演奏や作品に対する造詣を深める教育をする。
5. 学生が音楽の歴史・作品・演奏解釈について自分で分析し考察する力を身につけるように、1年次・4年次の必修科目（4単位）として「音楽芸術学演習(1)～(4)」を【演習科目】（4単位必修）に設置し、他者の解釈や意見を理解しつつ、自らの考えを適切に表現し伝えることができるよう指導する。
6. 学生が音楽芸術を自身の観点で捉え、分析し、判断する力を養うように、【基礎科目】、【展開科目】および【演習科目】を通じて、常に考えさせる指導を行う。
7. 学生が音楽の作品を自らの感性をもって感じ、演奏を通じて感じたことを表現し、伝える力を養うように、【基礎科目】、【基幹科目】、【演習科目】、【展開科目】を通じて演奏表現の技能を指導する。
8. 学生が音楽の歴史、文化、背景を理解した上で楽曲を理解する演奏解釈、解釈を適切に表現し伝える演奏法、また総合的な知識により他者に共感を与える作品を創造するための作曲技法等、普遍的かつ個性的な音楽性を確立するために、「卒業演奏・卒業作品・卒業論文」を【演習科目】として設置し、総括的な指導を行う。

1 卒業要件単位数 (詳細)

			日本語 日本文化 学科	英語英米文化学科				外国语 コミュニケーション 学科	音楽芸術学科										
				英米文化 研究コース	英米文化 研究コース 英語スペシャ リスト養成 プログラム	英語研究 コース	英語研究 コース 英語スペシャ リスト養成 プログラム		ピアノ コース	声楽 コース	管楽器 コース								
卒業要件			128	128	128	128	128	124	124	124	124								
共通教育科目			30	30	30	30	30	22	28	28	28								
必修	金城アイデン ティティ科目	キリスト教学(1)	2	2	2	2	2	2	2	2	2								
		キリスト教学(2)	2	2	2	2	2	2	2	2	2								
	⑤英語教育科目	英語コミュニケーションA(1)	1	17	9	9	9	9	1	1	1								
		英語コミュニケーションA(2)	1						1	1	1								
		英語コミュニケーションB(1)	1						1	1	1								
		英語コミュニケーションB(2)	1						1	1	1								
		英語コミュニケーションC(1)	1						1	17	17								
		英語コミュニケーションC(2)	1						1	1	1								
		英語コミュニケーションD(1)	1						1	1	1								
		英語コミュニケーションD(2)	1						1	1	1								
	⑦情報教育科目		情報リテラシー	2	2	2	2	2	2	2	2								
選択必修	⑨キャリア開発教育 科目	キャリア開発A	2	7	2	2	2	2	2	2	2								
		キャリア開発B	1		1	1	1	1	1	1	1								
		①～③の3テーマか ら2科目選択(「キリ スト教学(1)(2)」を除 く)	4		4	4	4	4	4	4	4								
	④教養科目			13	7	21	21	21	13	11	11								
	⑦情報教育科目(「情報リテラシー」を除く)																		
	⑧キャリア開発教育科目(「キャリア開発A」、 「キャリア開発B」を除く)																		
	⑩海外研修科目																		
	⑪学生プロジェクト科目																		
	⑥外国語教育科目(英語英米文化学科は1言語選択)																		
	⑨S & E教育科目から2科目選択(「スパー ツ・アンド・エクササイズH」を除く)																		
専門教育科目				70	70	70	70	70	74	70	70								
基礎科目	必修	8	8	8	8	8	8	6	10	10	10								
	選択必修	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—								
基幹科目	必修(コース必修)	(10)	34	31	31	31	31	12	12	12	12								
	選択必修(コース選択必修)	(24)						20	32										
展開科目	必修(コース必修)	—	16	(8)	25	(8)	21	(8)	21	24	40								
	選択必修(コース選択必修)	(6)																	
演習科目	必修	6	12	6	10	6	10	8	4	4	4								
卒業論文	必修	6		—	—	—	—	—	—	—	—								
自由履修			28	28	28	28	28	28	26	26	26								

1 単位認定の対象となる検定試験等とその認定基準について

外国語検定試験等の合格または成果に係る学修のうち、外国語コミュニケーション学科の「中国語」「フランス語」「ドイツ語」に関する認定基準表は下表のとおりです。

注意：1 認定授業科目を複数の検定試験等で認定する場合は、成績区分の上位の検定試験等で認定されます。
：2 教育職員免許状取得予定の場合、教職課程に係る科目を単位認定することはできません。

外国語コミュニケーション学科の「中国語」「フランス語」「ドイツ語」に関する認定基準表

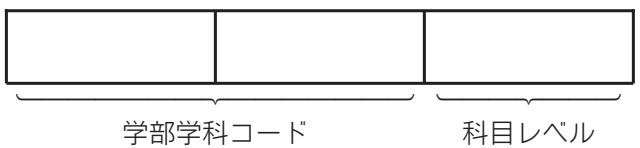
試験の種類	成績区分	認定授業科目	認定単位数
中国語検定試験	3級	基礎中国語(1)(2)	2単位
	2級	基礎中国語(1)(2)、検定中国語A・B	4単位
	準1級	基礎中国語(1)(2)、検定中国語A・B コミュニケーション中国語A(1)(2)	6単位
	1級	基礎中国語(1)(2)、検定中国語A・B コミュニケーション中国語A(1)(2) コミュニケーション中国語B(1)(2)	8単位
実用フランス語技能検定試験	3級	基礎フランス語(1)(2)	2単位
	準2級	基礎フランス語(1)(2)、検定フランス語A	3単位
	2級	基礎フランス語(1)(2)、検定フランス語A・B	4単位
	準1級	基礎フランス語(1)(2)、検定フランス語A・B コミュニケーションフランス語A(1)(2)	6単位
	1級	基礎フランス語(1)(2)、検定フランス語A・B コミュニケーションフランス語A(1)(2) コミュニケーションフランス語B(1)(2)	8単位
フランス語資格試験	A 2 (DELF)	基礎フランス語(1)(2)	2単位
	B 1 (DELF)	基礎フランス語(1)(2)、検定フランス語A・B	4単位
	B 2 (DELF)	基礎フランス語(1)(2)、検定フランス語A・B コミュニケーションフランス語A(1)(2)	6単位
	C 1 (DALF)	基礎フランス語(1)(2)、検定フランス語A・B コミュニケーションフランス語A(1)(2) コミュニケーションフランス語B(1)(2)	8単位
ドイツ語技能検定試験	3級	基礎ドイツ語(1)(2)	2単位
	2級	基礎ドイツ語(1)(2)、検定ドイツ語A・B	4単位
	準1級	基礎ドイツ語(1)(2)、検定ドイツ語A・B コミュニケーションドイツ語A(1)(2)	6単位
	1級	基礎ドイツ語(1)(2)、検定ドイツ語A・B コミュニケーションドイツ語A(1)(2) コミュニケーションドイツ語B(1)(2)	8単位

備考：1 認定科目の選択は、単位修得状況・履修状況に応じて教務委員が行います。

2 【別表】の認定基準により「外国語検定（中国語1～4、中国語会話1～4）（フランス語1～4、フランス語会話1～4）（ドイツ語1～4、ドイツ語会話1～4）」に認定することができます。ただし、共通教育科目と専門教育科目を同時に認定することはできません。

1 科目分類番号について

科目分類番号は数字3桁でカリキュラムにおける当該科目の位置づけを示したものです。
履修の際の参考にしてください。



学部学科コード

共通教育：10

文学部共通：20

日本語日本文化学科：21

英語英米文化学科：22

外国語コミュニケーション学科：25

音楽芸術学科：26

科目レベル

入門：1 科目内容レベルが導入もしくは入門に位置づけられる科目

基礎：2 主に基盤として学ぶべき科目等

発展：3 応用や発展の内容を含む科目等

※科目分類番号と開講基準年次は違います。例えば3桁目のレベルが3に設定されていても、開講基準年次が1年次に設定されていれば1年生でも履修できます。反対にレベルが1や2に設定されていても開講基準年次が3年次になっていれば1・2年生は履修することができません。

1 共通教育科目等 課程表

科目名の★は必修、■は選択必修

I 建学の精神を学ぶ科目（金城アイデンティティ科目）

科目区分	授業科目	副題・内容	科目分類番号			
			1年	2年	3年	4年
① キリスト教	キリスト教学(1)★	建学の精神であるキリスト教と聖書の世界について学ぶ	101	2		
	キリスト教学(2)★		101	2		
	聖書の読み方■	「聖書」の執筆者、書かれた目的、内容を学ぶ	101	2		
	聖書の女性観■	聖書における女性の描き方を通して女性観を学ぶ	101	2		
	キリスト教と日本■	日本におけるキリスト教の歴史と現代事情を学ぶ	101	2		
	現代世界とキリスト教■	世界各地域のキリスト教事情を学ぶ	101	2		
	医療とキリスト教精神■	医療従事者から医療とキリスト教の精神の関係を学ぶ	101	2		
	福祉とキリスト教■	福祉の各分野とキリスト教の関わりについて学ぶ	101	2		
	キリスト教文化学入門■	中世のキリスト教が生み出した祝祭日の歴史を学ぶ	101	2		
	音楽とキリスト教■	理論・解説と実践・歌唱により、賛美歌を多面的に学ぶ	101	2		
	美術とキリスト教■	キリスト教と西洋美術の関わりについて学ぶ	101	2		
	文学とキリスト教■	文学への影響、また聖書の邦訳の問題について学ぶ	101	2		
② 女性	いのち・こころ■	誕生から死まで、困難をバネに積極的に生きることを考える	101	2		
	歴史の中の女性■	19世紀の英国と米国の歴史に登場する女性について学ぶ	101	2		
	世界の女性問題■	国際社会における女性の人権について考える	101	2		
	福祉と女性■	女性が抱える社会福祉の問題を通して生き方を考える	101	2		
	女性と文学■	文学や映画に登場する女性を新たな視点から考察する	101	2		
	男女共同参画社会■	従来の男女観、国際比較等から日本女性の状況を考える	101	2		
	性差の科学■	ジェンダーと人間行動・偏見・コミュニケーションを学ぶ	101	2		

科目区分	授業科目	副題・内容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
③国際理解	現代世界の形成	第二次世界大戦後の世界と今日の国際情勢について学ぶ	101	2			
	世界の多様な文化	異なる地域に住む人々の社会や文化、宗教的背景を学ぶ	101	2			
	世界の社会問題	日本を取り巻く国際情勢とその問題について学ぶ	101	2			
	多文化共生社会	多民族・多文化共生社会の実現について考える	101	2			
	Topics in Comparative Culture	外国と比較した日本文化を基本的な英語で学ぶ	101	2			
	英語圏の生活と文化	英語圏の地理、歴史、文化、生活について学ぶ	101	2			
	ヨーロッパの生活と文化	今日のヨーロッパ社会とそこで暮らす人々について学ぶ	101	2			
	アジアの生活と文化	中国、日本、朝鮮半島の生活や文化からその影響と交流を学ぶ	101	2			
	異文化コミュニケーション	異文化間で起こる様々な問題を解決する能力を培う	101	2			
	海外留学準備講座	留学への心構えや留学先の文化・社会的背景を学ぶ	101	1			

大学編
諸学籍手続き大学編
取扱い事務の大学編
履修規程学部編
ポリシー学部編
卒業要件(詳細)学部編
制度独自の学部編
科目分類番号学部編
等共の課程教育科目学部編
専門教育科目の
カリキュラムシート
および課程表学部編
教員教免取得に
教育課程表学部編
各種資格

II 現代社会の教養の基礎となる科目

*「大学での学び」は高大接続連携授業において履修する科目であり、入学後の履修はできません。

科目区分	授業科目	副題・内容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
A・Life ④教養科目	東洋哲学 ■	現代日本と東洋の伝統思想	101	2			
	西洋哲学 ■	生きることを考える哲学	101	2			
	倫理学 ■	現代社会における倫理	101	2			
	いのちの倫理 ■	いのちを生かす倫理学	101	2			
	健康科学 ■	健康管理のキーポイントを探る	101	2			
	心理学 ■	こころの動きを理解する	101	2			
	人間発達学 ■	発達の筋道を学ぶ	101	2			
	カウンセリング入門 ■	心の問題理解とその援助法	101	2			
	ロジカルシンキング入門 ■	問題解決の方法を考える	101	2			
	教職入門 ■	教職の意義と役割を理解する	101	2			
	学校と教育の歴史 ■	教育の歴史と思想を探る	101	2			
	発達と学習 ■	子どもの発達と学習過程を捉える	101	2			
	教育相談 ■	学校における心のケアを考える	101	2			
	大学での学び ※履修不可 ■	高大接続連携授業	-	1			
B・Nature	生命科学 ■	いのちの謎にせまる	101	2			
	生物学 ■	動物の行動を科学する	101	2			
	環境学 ■	環境問題入門	101	2			
	薬学 ■	くすりと体を科学する	101	2			
	健康とサプリメント ■	サプリメント利用の豆知識	101	2			
	化粧品学入門 ■	化粧品まるわかり	101	2			
	食品栄養学 ■	食品の栄養素を学ぶ	101	2			
	生活と科学 ■	生活習慣（生活環境）と病気の関係を知る	101	2			
	生活と衣服 ■	衣服まるわかり	101	2			
	生活と住まい ■	住まい方を考える	101	2			
	数学 ■	数学基礎入門	101	2			
	統計学 ■	統計まるわかり	101	2			
	情報学 ■	情報まるわかり	101	2			

科目区分	授業科目	副題・内容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
④教養科目	C・Culture	文化人類学 ■ 人類の多様な生活と文化	101	2			
		日本文化論 ■ サブカルチャーから学ぶ日本文化	101	2			
		日本文学論 ■ 「少女」の眼から見る近現代日本文学	101	2			
		日本史入門 ■ エピソードで学ぶ日本史	101	2			
		日本地理 ■ 47都道府県を探訪する	101	2			
		日本語学 ■ 日本語を振り返ってみよう	101	2			
		実践日本語 ■ 文章と文書の書き方	101	2			
		日本美術史 ■ 日本美術鑑賞入門	101	2			
		Topics in Contemporary Japan ■ 英語で学ぶ現代日本の諸問題	101	2			
		西洋文学論 ■ 西洋文学に見るロマンス	101	2			
		西洋史入門 ■ エピソードで学ぶ西洋史	101	2			
		西洋美術史 ■ 西洋美術鑑賞入門	101	2			
		ファンションの歴史 ■ デザインの変遷とビジネスの関係	101	2			
		美術創作 ■ 静物デッサン入門	101	1			
D・Society	D・Society	法学入門 ■ 法律と人権を学ぶ	101	2			
		日本国憲法 ■ 憲法を理解する	101	2			
		政治学入門 ■ 政治の仕組みを知る	101	2			
		行政学入門 ■ 行政と公務員の役割を学ぶ	101	2			
		経済学入門 ■ お金の動きを知る	101	2			
		経営学入門 ■ ビジネスの基礎を学ぶ	101	2			
		マーケティング入門 ■ ヒット商品のつくり方を学ぶ	101	2			
		消費者と市民社会 ■ 消費行動を通して社会を変える	101	2			
		社会学入門 ■ 社会を見る目を養う	101	2			
		名古屋学 ■ 名古屋の魅力を発見する	101	2			
		平和学入門 ■ 半径2メートルから平和を考える	101	2			

III 現代社会に必要なリテラシーを身につける科目

※修得単位について…⑤英語教育科目における英語コミュニケーションE～G、実践ビジネス英語A～E、海外ビジネス研修の修得単位については、自由履修の単位に含まれます。

⑥外国語教育科目における、英語英米文化学科生の必要最低修得単位（8単位）を越えて修得した単位については、自由履修の単位に含まれます。

科目区分	授業科目	日文 英文	英 文 外 コ ミ	音 芸	副題・内容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
							1年	2年	3年	4年
⑤英語教育科目	英語コミュニケーションA(1) 英文・外コミは履修不可	★		★	Speaking・Writing	101	1			
	英語コミュニケーションA(2) 英文・外コミは履修不可	★		★	Speaking・Writing	101	1			
	英語コミュニケーションB(1) 英文・外コミは履修不可	★		★	CALL・Reading	101	1			
	英語コミュニケーションB(2) 英文・外コミは履修不可	★		★	CALL・Reading	101	1			
	英語コミュニケーションC(1) 英文・外コミは履修不可	★		★	Speaking・Presentation	102		1		
	英語コミュニケーションC(2) 英文・外コミは履修不可	★		★	Speaking・Presentation	102		1		
	英語コミュニケーションD(1) 英文・外コミは履修不可	★		★	Reading・Listening	102		1		
	英語コミュニケーションD(2) 英文・外コミは履修不可	★		★	Reading・Listening	102		1		
	英語コミュニケーションE(1) 英文・外コミは履修不可				Integrated English (総合英語)	103		1		
	英語コミュニケーションE(2) 英文・外コミは履修不可				Integrated English (総合英語)	103		1		
	英語コミュニケーションF 英文・外コミは履修不可				検定試験対策 (TOEIC対策)	103		1		
	英語コミュニケーションG 英文・外コミは履修不可				検定試験対策 (TOEIC対策)	103		1		
	実践ビジネス英語A 選抜者以外は履修不可				TOEIC L&R 550 以上を目指す	103	1			
	実践ビジネス英語B 選抜者以外は履修不可				TOEIC L&R 600 以上を目指す	103	1			
	実践ビジネス英語C 選抜者以外は履修不可				TOEIC L&R 650 以上を目指す	103		1		
⑥外国語教育科目	実践ビジネス英語D 選抜者以外は履修不可				TOEIC L&R 700 以上を目指す	103			1	
	実践ビジネス英語E 選抜者以外は履修不可				英語のレポート作成方法を学ぶ	103				1
	海外ビジネス研修 選抜者以外は履修不可				カナダでビジネスコミュニケーションを学ぶ	103		1		
	ドイツ語(1) 外コミは履修不可	■■	■		初級1(主として日本人教員による文法・読解の授業)	101	1			
	ドイツ語(2) 外コミは履修不可	■■	■		初級2(主として日本人教員による文法・読解の授業)	101	1			
	ドイツ語(3) 外コミは履修不可	■■	■		中級1(主として日本人教員による文法・読解の授業)	102		1		
	ドイツ語(4) 外コミは履修不可	■■	■		中級2(主として日本人教員による文法・読解の授業)	102		1		

科目区分	授業科目	日文 英文	外 國 語	音 云	副題・内容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
							1年	2年	3年	4年
⑥ 外国語教育科目	ドイツ語会話(1) 外コミは履修不可	■■	■	■	初級1(主として外国人教員による会話の授業)	101	1			
	ドイツ語会話(2) 外コミは履修不可	■■	■	■	初級2(主として外国人教員による会話の授業)	101	1			
	ドイツ語会話(3) 外コミは履修不可	■■	■	■	中級1(主として外国人教員による会話の授業)	102		1		
	ドイツ語会話(4) 外コミは履修不可	■■	■	■	中級2(主として外国人教員による会話の授業)	102		1		
	フランス語(1) 外コミは履修不可	■■	■	■	初級1(主として日本人教員による文法・読解の授業)	101	1			
	フランス語(2) 外コミは履修不可	■■	■	■	初級2(主として日本人教員による文法・読解の授業)	101	1			
	フランス語(3) 外コミは履修不可	■■	■	■	中級1(主として日本人教員による文法・読解の授業)	102		1		
	フランス語(4) 外コミは履修不可	■■	■	■	中級2(主として日本人教員による文法・読解の授業)	102		1		
	フランス語会話(1) 外コミは履修不可	■■	■	■	初級1(主として外国人教員による会話の授業)	101	1			
	フランス語会話(2) 外コミは履修不可	■■	■	■	初級2(主として外国人教員による会話の授業)	101	1			
	フランス語会話(3) 外コミは履修不可	■■	■	■	中級1(主として外国人教員による会話の授業)	102		1		
	フランス語会話(4) 外コミは履修不可	■■	■	■	中級2(主として外国人教員による会話の授業)	102		1		
	スペイン語(1)	■■■	■	■	初級1(主として日本人教員による文法・読解の授業)	101	1			
	スペイン語(2)	■■■	■	■	初級2(主として日本人教員による文法・読解の授業)	101	1			
	スペイン語(3)	■■■	■	■	中級1(主として日本人教員による文法・読解の授業)	102		1		
	スペイン語(4)	■■■	■	■	中級2(主として日本人教員による文法・読解の授業)	102		1		
	スペイン語会話(1)	■■■	■	■	初級1(主として外国人教員による会話の授業)	101	1			
	スペイン語会話(2)	■■■	■	■	初級2(主として外国人教員による会話の授業)	101	1			
	スペイン語会話(3)	■■■	■	■	中級1(主として外国人教員による会話の授業)	102		1		
	スペイン語会話(4)	■■■	■	■	中級2(主として外国人教員による会話の授業)	102		1		
	中国語(1) 外コミは履修不可	■■	■	■	初級1(主として日本人教員による文法・読解の授業)	101	1			
	中国語(2) 外コミは履修不可	■■	■	■	初級2(主として日本人教員による文法・読解の授業)	101	1			
	中国語(3) 外コミは履修不可	■■	■	■	中級1(主として日本人教員による文法・読解の授業)	102		1		
	中国語(4) 外コミは履修不可	■■	■	■	中級2(主として日本人教員による文法・読解の授業)	102		1		
	中国語会話(1) 外コミは履修不可	■■	■	■	初級1(主として外国人教員による会話の授業)	101	1			
	中国語会話(2) 外コミは履修不可	■■	■	■	初級2(主として外国人教員による会話の授業)	101	1			
	中国語会話(3) 外コミは履修不可	■■	■	■	中級1(主として外国人教員による会話の授業)	102		1		
	中国語会話(4) 外コミは履修不可	■■	■	■	中級2(主として外国人教員による会話の授業)	102		1		

科目区分	授業科目	日文 英文 外 語 音 韻	副題・内容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
					1年	2年	3年	4年
⑥ 外国語教育科目	韓国・朝鮮語(1)	■ ■ ■ ■ ■	初級1(主として日本人教員による文法・読解の授業)	101	1			
	韓国・朝鮮語(2)	■ ■ ■ ■ ■	初級2(主として日本人教員による文法・読解の授業)	101	1			
	韓国・朝鮮語(3)	■ ■ ■ ■ ■	中級1(主として日本人教員による文法・読解の授業)	102		1		
	韓国・朝鮮語(4)	■ ■ ■ ■ ■	中級2(主として日本人教員による文法・読解の授業)	102		1		
	韓国・朝鮮語会話(1)	■ ■ ■ ■ ■	初級1(主として外国人教員による会話の授業)	101	1			
	韓国・朝鮮語会話(2)	■ ■ ■ ■ ■	初級2(主として外国人教員による会話の授業)	101	1			
	韓国・朝鮮語会話(3)	■ ■ ■ ■ ■	中級1(主として外国人教員による会話の授業)	102		1		
	韓国・朝鮮語会話(4)	■ ■ ■ ■ ■	中級2(主として外国人教員による会話の授業)	102		1		
⑦ 情報教育科目	情報リテラシー★	コンピュータ力を身につける		101	2			
	IT活用A	■	3次元コンピュータ・グラフィックス	102	2			
	IT活用B	■	動画作成編集	102	2			
	IT活用C	■	プログラミング入門	102	2			
	IT活用D	■	Webページデザイン	102	2			
	IT活用E	■	コンピュータ統計入門	102	2			
	IT活用F	■	デスクトップ・パブリッシング	102	2			
	IT活用G	■	コンピュータ・デザイン	102	2			
	IT活用H <small>文学部は履修不可</small>		コンピュータと薬学	102	2			
⑧ キャリア開発教育科目	キャリア開発A★	キャリア開発の意義と方法		101	2			
	キャリア開発B★	マナー&コミュニケーション		101	1			
	キャリア開発C	■	自分らしい生き方を設計する	102		2		
	キャリア開発D	■	いきいき働く女性たち	102		2		
	キャリア開発E	■	大企業のトップに学ぶキャリアの本当の意味	103			2	
	キャリア開発F	■	将来の職業生活に備える	103			2	
	キャリア開発G(1)	■	インターンシップ準備	102		2		
	キャリア開発G(2)	■	インターンシップ	103			2	

IV スポーツを通じて健康増進を図る科目

※修得単位について…⑨S & E教育科目における「スポーツ・アンド・エクササイズH」の修得単位については、自由履修の単位に含まれます。

科目区分	授業科目	副題・内容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
⑨ S & E 教育科目	スポーツ・アンド・エクササイズA ■	テニス	101	1			
	スポーツ・アンド・エクササイズB ■	ゴルフ	101	1			
	スポーツ・アンド・エクササイズC ■	バドミントン	101	1			
	スポーツ・アンド・エクササイズD ■	卓球	101	1			
	スポーツ・アンド・エクササイズE ■	バレー・ポール	101	1			
	スポーツ・アンド・エクササイズF ■	ライトスポーツ	101	1			
	スポーツ・アンド・エクササイズG ■	野外スポーツ実習	101	1			
	スポーツ・アンド・エクササイズH	ヘルシーエクササイズ	102				1

V 実践から学ぶ科目

科目区分	授業科目	副題・内容	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
				1年	2年	3年	4年
⑩ 海外研修科目	海外研修 A ■ 外コミは履修不可	北米での学習プログラム	103	2			
	海外研修 B ■ 外コミは履修不可	イギリスでの学習プログラム	103	2			
	海外研修 C ■ 外コミは履修不可	オーストラリアでの学習プログラム	103	2			
	海外研修 D ■ 外コミは履修不可	中国での学習プログラム	103	2			
	海外研修 E ■ 外コミは履修不可	海外のあらゆる地域での学習プログラム	103	2			
⑪ 学生プロジェクト科目	キャリアプロジェクト ■	社会に参加する	103	2			
	里山プロジェクト ■	里山から見る日本の姿	103	2			
	KIDSセンタープロジェクト ■	KIDSセンター活動に参加する	103	2			
	ボランティアプロジェクト ■	ボランティアを実践する	103	2			
	公募プロジェクト ■	慰問演奏を行おう	103	2			

教職に関する科目（中・高・栄養免許）

授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
教 職 入 門	101	2			
学 校 と 教 育 の 歴 史	101	2			
発 達 と 学 習	101	2			
教 育 制 度 论	102		2		
障 害 者 教 育 论	102		2		
教 育 課 程 论	102			2	
国 語 科 指 導 法 A	102		4		
国 語 科 指 導 法 B	102			2	
国 語 科 指 導 法 C	102			2	
英 語 科 指 導 法 A	102		4		
英 語 科 指 導 法 B	102			2	
英 語 科 指 導 法 C	102			2	
家 庭 科 指 導 法 A	102		4		
家 庭 科 指 導 法 B	102			2	
家 庭 科 指 導 法 C	102			2	
社会科・地理歴史科指導法 A	102		2		
社会科・地理歴史科指導法 B	102			2	
社会科・公民科指導法 A	102		2		
社会科・公民科指導法 B	102			2	
情 報 科 指 導 法	102		4		
福 祉 科 指 導 法	102		4		
書 道 科 指 導 法	102		4		
音 楽 科 指 導 法 A	102		4		
音 楽 科 指 導 法 B	102			2	
音 楽 科 指 導 法 C	102			2	

授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
理 科 指 導 法 A	102		4		
理 科 指 導 法 B	102			2	
理 科 指 導 法 C	102			2	
道 德 教 育 の 理 論 と 方 法	102			2	
特 別 活 動 の 指 導 法	102			2	
教 育 方 法 の 理 論 と 実 践	102		2		
教 育 の 方 法 と 技 術 (情報機器及び教材の活用を含む)	102		2		
生 徒 指 導 の 理 論 と 方 法	102			2	
教 育 相 談	101		2		
教 育 実 習 A	103				5
教 育 実 習 B	103				3
教 職 実 践 演 習 (中 高)	103				2
教 職 実 践 演 習 (栄 養 教 諭)	103				2

日本語科目・日本事情に関する科目

外国人留学生以外、履修不可

科目区分	授業科目	科目分類番号	単位数
日本語科目	日本語 2 1 1	102	1
	日本語 2 1 2	102	1
	日本語 2 1 3	102	1
	日本語 2 1 4	102	1
	日本語 2 1 5	102	1
	日本語 2 2 1	102	1
	日本語 2 2 2	102	1
	日本語 2 2 3	102	1
	日本語 2 2 4	102	1
	日本語 2 2 5	102	1
	日本語 3 1 1	103	1
	日本語 3 1 2	103	1
	日本語 3 1 3	103	1
	日本語 3 1 4	103	1
	日本語 3 1 5	103	1
	日本語 3 2 1	103	1
	日本語 3 2 2	103	1
	日本語 3 2 3	103	1
	日本語 3 2 4	103	1
	日本語 3 2 5	103	1
	日本語 4 1 1	103	1
	日本語 4 1 2	103	1
	日本語 4 2 1	103	1
	日本語 4 2 2	103	1

科目区分	授業科目	科目分類番号	単位数
日本事情に関する科目	日本事情 A	102	2
	日本事情 B	102	2
	日本事情 C	102	2
	日本事情 D	102	2
	インディペンデント・スタディ	103	2

1 カリキュラム・ツリー

カリキュラム・ツリーとは、専門教育科目のカリキュラムにおいて、学生が卒業までに身につけるべき知識・能力を得るために授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の関連性を系統的に可視化したものです。カリキュラムの年次進行、授業科目間のつながりなど、カリキュラムの体系性が一望できるようになっています。

日本語日本文化学科

青字は必修科目

		1年	2年	3年	4年
基礎科目		古典文化入門 近現代文化入門 日本語学入門 日本文化通史			
古典文化コース 科目群	基幹科目	古典文化史 古典文学史	古典文化概論 古典文学概論 古典文化講読(1)(2) 古典文学講読(1)(2) 古典文化講義(1)(2) 漢文学概論(1)(2) 漢文学史 漢文学講読		
	展開科目			日本文化総論 古典特殊講義A(1)(2) 古典特殊講義B(1)(2) 日本民俗学(1)(2) 日本美術史(1)(2) 古典芸術論(1)(2) 日本書誌学(1)(2)	
近現代文化 コース 科目群	基幹科目	近現代文化史 近現代文学史	近現代文化概論 近現代文学概論 近現代文化研究(1)(2) 近現代文学講読(1)(2) 近現代文化講義(1)(2) 現代芸術論(1)(2)		
	展開科目			ポップカルチャー論(1)(2) 近現代特殊講義A(1)(2) 近現代特殊講義B(1)(2) 比較文化・文学理論 A・B メディア言説論(1)(2) 日本文化創造A・B	
日本語学・ 日本語教育 コース 科目群	基幹科目	日本語史(1)(2)	日本語学概論(1)(2) 日本語学講読(1)(2) 日本語学講義 A～E		
	展開科目	日本語教育入門	Cross-Cultural Communication 日本語教授法 世界の日本語教育	日本語学特殊講義 C 日本語の音声・文字 日本語文法 日本語教育の諸問題 日本語教育演習A・B 国内日本語教育実習 海外日本語教育実習 日本語学特殊講義 A(1)(2) 日本語学特殊講義 B(1)(2)	
コース共通 科目群	展開科目	図書館概論 図書館情報資源概論 図書館基礎特論 図書館情報資源特論 図書・図書館史 図書館施設論 博物館概論 博物館資料論	書道史 書論 生涯学習概論 図書館情報技術論 図書館サービス概論 情報サービス論 図書館サービス演習 博物館資料保存論 博物館展示論	図書館制度・経営論 児童サービス論 情報サービス演習(1)(2) 情報資源組織論 情報資源組織演習(1)(2) 学校経営と学校図書館 学校図書館メディアの構成 学習指導と学校図書館 読み書きと豊かな人間性 情報メディアの活用 博物館経営論 博物館情報・メディア論 博物館教育論 博物館実習(1)	博物館実習(2)
キャリア・リテラシー科目群	基幹科目	言語の技法A・B 日文キャリア	インターネット・コミュニケーション 人文データベース	言語の技法C・D	
実習科目群	基幹科目	日本文化実習A～D 書道A・B	書道C・D		
リベラル アーツ 科目群	展開科目	西洋音楽史入門 西洋美術史A・B 音楽鑑賞A・B 中国語文化入門 フランス語文化入門 ドイツ語文化入門	邦楽鑑賞 ヨーロッパの文化と芸術 金城シネマ 日本の多文化事情 世界と日本のクラシック 英米文化研究A～E イタリア語入門(1)(2)		
			民族と芸術 英語語彙研究 英語意味研究 地中海文化入門 イタリア文化入門		
演習科目・卒業論文			日本文化演習(1)(2)	日本文化演習(3)(4)	卒業論文演習(1)(2) 卒業論文

※各コースの必修科目については、課程表で確認してください。

英語英米文化学科

青字は必修科目

	1年	2年	3年	4年
基礎科目	英語圏文化入門 英米文学の世界 英語研究入門A・B			
基幹科目	Teacher-Student English Interview Reading/Writing(1)(2) Speaking/Writing(1)(2) Listening/Pronunciation(1)(2) Business Communication(1)(2) English Grammar(1)(2) 留学のための英語 基礎英文法 TOEFL・IELTS演習	Reading/Writing(3)(4) Speaking/Writing(3)(4) Extensive English(1)(2) Business Communication(3)(4)	Reading/Writing(5)(6) Speaking/Writing(5)(6) Business Communication(5)(6) Advanced Speaking A・B	Reading/Writing(7)(8) Speaking/Writing(7)(8) Business Communication(7)(8)
英米文化研究コース	西洋美術史A・B 西洋音楽史入門	イギリス文化概論 イギリス文学概論 アメリカ文化概論 アメリカ文学概論 英米文化研究A～E 英米文学研究E～G ヨーロッパの文化と芸術	英米文学研究C・D 日英文化研究A・B 日米文化研究A・B	英米文学研究A・B
英語研究コース		英語構造研究(1)(2) 英語音声研究(1)(2) Cross-Cultural Communication	言語習得特論A・B 日本語学特殊講義C 日本語の音声・文字 日本語文法 日本語教育の諸問題 世界の英語	英語学特殊研究A・B 日本語学特殊講義A(1)(2)
キッズ・イングリッシュ・プログラム		小学校英語	早期英語教育研究 早期英語教育教材研究	Classroom English 早期英語教育実習
エアラインプログラム		English for Hospitality コミュニケーションスキル エアラインビジネス論	エアラインサービス論 ホスピタリティ論 サービスコミュニケーション論 サービスコミュニケーション演習 エアライン実地研修	
学科共通	中国語文化入門 フランス語文化入門 ドイツ語文化入門 日本語教育入門 音楽鑑賞A・B	通訳入門(1)(2) 翻訳入門(1)(2) 英語教育研究A・B 異文化間コミュニケーション 古典文化講読(1)(2) 近現代文化講義(1)(2) 現代芸術論(1)(2) 金城シネマ 日本の多文化事情 世界と日本のクラシック 日本語教授法 世界の日本語教育 邦楽鑑賞 イタリア語入門(1)(2)	アメリカ経済論 アメリカ社会論	
		Topics in Language and Culture A～D 異文化理解A～D・F 民族と芸術 イタリア文化入門 地中海文化入門	異文化理解E	
英語スペシャリスト養成プログラム演習科目			翻訳演習(1)(2) 通訳演習A(1)(2) 通訳演習B(1)(2)	翻訳演習(3)(4) 通訳演習A(3)(4) 通訳演習B(3)(4)
演習科目・卒業研究	基礎演習(1)(2)		専門演習(1)(2)	専門演習(3)(4) 卒業研究

※各コースの必修科目については、課程表で確認してください。

外国語コミュニケーション学科

青字は必修科目

		1年	2年	3年	4年
基礎科目		海洋コース入門 大陸コース入門 ディベート入門 中国語文化入門 フランス語文化入門 ドイツ語文化入門	ディベートA~D		
基幹科目	英語科目群	Grammar(1)(2) Reading(1)(2) Conversation(1)(2)	Reading and Writing(1)(2) TOEIC Intermediate(1)(2) Oral Presentation(1)(2) Language Camp	Advanced English A・B	
	外国語科目群	基礎中国語(1)(2) コミュニケーション中国語A(1)(2) コミュニケーション中国語B(1)(2)	中級中国語(1)(2) 読解中級中国語(1)(2) コミュニケーション中級中国語(1)(2)	上級中国語(1)(2)	
		基礎フランス語(1)(2) コミュニケーションフランス語A(1)(2) コミュニケーションフランス語B(1)(2)	中級フランス語(1)(2) 読解中級フランス語(1)(2) コミュニケーション中級フランス語(1)(2)	上級フランス語(1)(2)	
		基礎ドイツ語(1)(2) コミュニケーションドイツ語A(1)(2) コミュニケーションドイツ語B(1)(2)	中級ドイツ語(1)(2) 読解中級ドイツ語(1)(2) コミュニケーション中級ドイツ語(1)(2)	上級ドイツ語(1)(2)	
	海外キャリアアッププログラム	TOEIC入門 TOEFL A 検定中国語A 検定フランス語A 検定ドイツ語A 実践中国語A・B 実践フランス語A・B 実践ドイツ語A・B	TOEFL B 検定中国語B・C 検定フランス語B・C 検定ドイツ語B・C 実践中国語C・D 実践フランス語C・D 実践ドイツ語C・D 海外キャリアトレーニング(1) 英語スピーチ強化講座A・B	English Communication(1)(2) 英語圈セメスター留学 海外キャリアトレーニング(2) コミュニケーション上級中国語(1)(2) コミュニケーション上級フランス語(1)(2) コミュニケーション上級ドイツ語(1)(2)	
				実践中国語E・F 実践フランス語E・F 実践ドイツ語E・F	
展開科目	理論研究科目群		比較文化研究 テクスト論 社会と文化 文化社会学研究 文化人類学研究	社会言語学研究 ポストコロニアル研究 民族と芸術 ジェンダー研究	
	地域研究科目群		中国古代文化研究 中国近現代社会研究 華僑・華人文化研究 近世フランス文化研究 近現代フランス文化研究 カリブ海・アフリカ文化研究	中世・近世・近代ドイツ文化研究 近現代ドイツ文化研究 イスラム・オーストリア文化研究 イタリア文化入門 地中海文化入門 異文化理解A~F	
	日本語教育プログラム	日本語教育入門	日本語教授法 世界の日本語教育 日本語学講読(1) 日本語史(1)(2) 日本語学講義A・B・D	日本語の音声・文字 日本語文法 日本語教育の諸問題 日本語教育演習A・B 日本語学概論(1)(2) 日本語学講読(2) 日本語学講義C・E 国内日本語教育実習 海外日本語教育実習	
	英語文化圏科目群		英語学 英米文学の世界 イギリス文化概論 アメリカ文化概論 イギリス文学概論 アメリカ文学概論	世界の英語 日英文化研究A・B 日米文化研究A・B	
	研修科目群	海外英語研修 海外中国語研修 海外フランス語研修 海外ドイツ語研修 海外短期研修	海洋文化研修		
	文学部 リベラルアーツ	西洋音楽史入門 西洋美術史A・B 音楽鑑賞A・B	古典文化講読(1)(2) 古典文学講読(1)(2) 近現代文化講義(1)(2) 現代芸術論(1)(2) 英米文化研究A~E 金城シネマ Cross-Cultural Communication 日本の多文化事情 世界と日本のクラシック ヨーロッパの文化と芸術 イタリア語入門(1)(2) 邦楽鑑賞		
			英語語彙研究 英語意味研究		
演習科目・卒業研究		基礎演習(1)(2)	専門演習(1)(2)	専門演習(3)(4)	専門演習(5)(6) 卒業研究プロジェクト

音楽芸術学科

青字は必修科目

		1年	2年	3年	4年
基礎科目		ソルフェージュ 音楽理論	芸術学 西洋音楽史A・B		
基幹科目		ピアノ奏法(1)(2) 声楽(1)(2) 管楽器奏法(1)(2)	ピアノ奏法(3)(4) 声楽(3)(4) 管楽器奏法(3)(4)	ピアノ奏法(5)(6) 声楽(5)(6) 管楽器奏法(5)(6)	ピアノ奏法(7)(8) 声楽(7)(8) 管楽器奏法(7)(8)
演習科目		音楽芸術学演習(1)(2)		音楽芸術学演習(3)(4) 卒業演奏・卒業作品・卒業論文	
A群 音楽理論／音楽実技	演奏家育成 プログラム	発音法 声楽伴奏演習 オペラアンサンブル ステージアクティング 管楽アンサンブルA～D ソリスト育成特別レッスンA(1)(2) 演奏家のための身体感覚レッスン ピアニストのための脱力法 ピアノアンサンブルA・B 和声		オペラ演習 声楽アンサンブル 室内アンサンブルA・B ソリスト育成特別レッスンB(1)(2) ソリスト育成特別レッスンC(1)(2)	
		ヤマハグレード取得講座A～G リトミック 自己表現トレーニング		ヤマハグレード取得講座H・I ピアノ指導法(1) 指揮法 管弦楽編曲法 作曲学	
	ピアノ 指導者育成 プログラム	副科声楽(1)(2) 副科ピアノ奏法A・B 合唱		合唱編曲法 副科管楽器 合唱指導法 吹奏楽指導法 邦楽A・B	
		B群 文化・鑑賞 音楽鑑賞A・B		ヨーロッパの文化と芸術 イタリア語入門(1)(2) 邦楽鑑賞 イタリア文化入門	
展開科目	C群 リベラルアーツ	ドイツ語文化入門 フランス語文化入門 西洋音楽史入門 西洋美術史A・B 音楽鑑賞A・B		音楽と文学 音楽と美術 日本音楽論 民族音楽論	
		中国語文化入門 日本語教育入門		金城シネマ 世界と日本のクラシック 日本語教授法 世界の日本語教育 Cross-Cultural Communication 日本の多文化事情 英米文化研究A～E 古典文化講読(1)(2) 古典文学講読(1)(2) 近現代文化講義(1)(2) 現代芸術論(1)(2)	
				民族と芸術 地中海文化入門 英語語彙研究 英語意味研究	

※各コースの必修科目については、課程表で確認してください。

※プログラムは一種の履修モデルですので明確な区分はありません。各プログラムの科目を履修可能です。(一部履修に条件のある科目もあります。)

日本語日本文化学科

2 古典文化コース 課程表

科目名の★印は必修、☆印は選択必修

基礎科目						
8単位必修						
授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
古 典 文 化 入 門	★	211	2			
近 現 代 文 化 入 門	★	211	2			
日 本 語 学 入 門	★	211	2			
日 本 文 化 通 史	★	211	2			

基幹科目						
2単位必修 4単位選択必修						
授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
キャリア・リテラシー科目群	言 語 の 技 法 A	★	211	1		
	言 語 の 技 法 B	★	211	1		
	インター ネット・コ ミュニケーション	☆	212		2	
	日 文 キ ャ リ ア	☆	211	2		
	人 文 デ 一 タ ベ ー ス	☆	212		2	
	言 語 の 技 法 C	☆	212			1
	言 語 の 技 法 D	☆	212			1

基幹科目						
古典文化コース科目群	・所属コース科目群から8単位必修、 加えて8単位選択必修 ・他コース科目群も含めた中から8単位選択必修					
	授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数		
				1年	2年	3年
	古 典 文 化 概 論	★	212		2	
	古 典 文 学 概 論	★	212		2	
	古 典 文 化 史	★	211		2	
	古 典 文 学 史	★	211		2	
	古 典 文 化 講 読 (1)	☆	212		2	
	古 典 文 化 講 読 (2)	☆	212		2	
	古 典 文 学 講 読 (1)	☆	212		2	
	古 典 文 学 講 読 (2)	☆	212		2	
	古 典 文 化 講 義 (1)	☆	212		2	
	古 典 文 化 講 義 (2)	☆	212		2	
	漢 文 学 概 論 (1)	☆	212		2	
	漢 文 学 概 論 (2)	☆	212		2	
	漢 文 学 史	☆	212		2	
	漢 文 学 講 読	☆	212		2	

基幹科目						
4単位選択必修						
授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
実習科目群	日 本 文 化 実 習 A	☆	211	1		
	日 本 文 化 実 習 B	☆	211	1		
	日 本 文 化 実 習 C	☆	211	1		
	日 本 文 化 実 習 D	☆	211	1		
	書 道 A	☆	211	1		
	書 道 B	☆	211	1		
	書 道 C	☆	212		1	
	書 道 D	☆	212		1	

基幹科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
授業科目			1年	2年	3年	4年
近現代文化コース科目群	近現代文化概論 ☆	212		2		
	近現代文学概論 ☆	212		2		
	近現代文化史 ☆	211	2			
	近現代文学史 ☆	211	2			
	近現代文化研究(1) ☆	212		2		
	近現代文化研究(2) ☆	212		2		
	近現代文学講読(1) ☆	212		2		
	近現代文学講読(2) ☆	212		2		
	近現代文化講義(1) ☆	212		2		
	近現代文化講義(2) ☆	212		2		
日本語学・日本語教育コース科目群	現代芸術論(1) ☆	212		2		
	現代芸術論(2) ☆	212		2		
	日本語学概論(1) ☆	212		2		
	日本語学概論(2) ☆	212		2		
	日本語学講読(1) ☆	212		2		
	日本語学講読(2) ☆	212		2		
	日本語史(1) ☆	211	2			
	日本語史(2) ☆	211	2			
	日本語学講義A ☆	212		2		
	日本語学講義B ☆	212		2		

展開科目						
・所属コース展開科目群から6単位選択必修 ・全ての展開科目から10単位選択必修						
授業科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
1年	2年		3年	4年		
書道史 ☆	212		2			
書論 ☆	212		2			
生涯学習概論 ☆	212		2			
図書館概論 ☆	211	2				
図書館情報技術論 ☆	212		2			
図書館制度・経営論 ☆	213			2		
図書館サービス概論 ☆	212		2			
情報サービス論 ☆	212		2			
児童サービス論 ☆	213			2		
情報サービス演習(1) ☆	213			1		
情報サービス演習(2) ☆	213			1		
図書館情報資源概論 ☆	211	2				
情報資源組織論 ☆	213		2			
情報資源組織演習(1) ☆	213			1		
情報資源組織演習(2) ☆	213			1		
図書館基礎特論 ☆	212	2				
図書館サービス演習 ☆	212		1			
図書館情報資源特論 ☆	212	2				
図書・図書館史 ☆	211	1				
図書館施設論 ☆	212	1				
学校経営と学校図書館 ☆	213			2		
学校図書館メディアの構成 ☆	213			2		
学習指導と学校図書館 ☆	213			2		
読書と豊かな人間性 ☆	213			2		
情報メディアの活用 ☆	213			2		
博物館概論 ☆	211	2				
博物館経営論 ☆	213			2		
博物館資料論 ☆	212	2				

授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
コース共通科目群	博物館資料保存論 ☆	212		2		
	博物館展示論 ☆	212		2		
	博物館情報・メディア論 ☆	213			2	
	博物館教育論 ☆	213			2	
	博物館実習(1) ☆	213			2	
	博物館実習(2) ☆	213				1
古典文化コース科目群	日本文化総論 ☆	212		2		
	古典特殊講義A(1) ☆	213			2	
	古典特殊講義A(2) ☆	213			2	
	古典特殊講義B(1) ☆	213			2	
	古典特殊講義B(2) ☆	213			2	
	日本民俗学(1) ☆	213			2	
	日本民俗学(2) ☆	213			2	
	日本美術史(1) ☆	213			2	
	日本美術史(2) ☆	213			2	
	古典芸術論(1) ☆	213			2	
	古典芸術論(2) ☆	213			2	
	日本書誌学(1) ☆	213			2	
	日本書誌学(2) ☆	213			2	

授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
近現代文化コース科目群	近現代特殊講義A(1) ☆	213				2
	近現代特殊講義A(2) ☆	213				2
	近現代特殊講義B(1) ☆	213				2
	近現代特殊講義B(2) ☆	213				2
	ポップカルチャー論(1) ☆	213			2	
	ポップカルチャー論(2) ☆	213			2	
	比較文化・文学理論A ☆	213				2
	比較文化・文学理論B ☆	213				2
	メディア言説論(1) ☆	213				2
	メディア言説論(2) ☆	213				2
	日本文化創造A ☆	213				2
	日本文化創造B ☆	213				2
	日本語学特殊講義A(1) ☆	213				2
	日本語学特殊講義A(2) ☆	213				2
日本語学・日本語教育コース科目群	日本語学特殊講義B(1) ☆	213				2
	日本語学特殊講義B(2) ☆	213				2
	日本語学特殊講義C ☆	213			2	
	Cross-Cultural Communication ☆	212		2		
	日本語教育入門 ☆	211	2			
	日本語教授法 ☆	212		2		
	世界の日本語教育 ☆	212		2		
	日本語の音声・文字 ☆	212			2	
	日本語文法 ☆	212			2	
	日本語教育の諸問題 ☆	213			2	
	日本語教育演習A ☆	213			1	
	日本語教育演習B ☆	213			1	
	国内日本語教育実習 ☆	213			2	
	海外日本語教育実習 ☆	213			2	

展開科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
授業科目			1年	2年	3年	4年
リベラルアーツ科目群	西洋音楽史入門 ☆	212	2			
	西洋美術史 A ☆	212	2			
	西洋美術史 B ☆	212	2			
	音楽鑑賞 A ☆	213	2			
	音楽鑑賞 B ☆	213	2			
	邦楽鑑賞 ☆	212		2		
	中国語文化入門 ☆	212	2			
	フランス語文化入門 ☆	212	2			
	ドイツ語文化入門 ☆	212	2			
	ヨーロッパの文化と芸術 ☆	213		2		
	民族と芸術 ☆	213		2		
	金城シネマ ☆	212		2		
	日本の多文化事情 ☆	213		2		
	世界と日本のクラシック ☆	212		2		

展開科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
授業科目			1年	2年	3年	4年
英米文化研究 E ☆		213		2		
英語語彙研究 ☆		213		2		
英語意味研究 ☆		213		2		
地中海文化入門 ☆		212		2		
イタリア文化入門 ☆		212		2		
イタリア語入門(1) ☆		212		1		
イタリア語入門(2) ☆		212		1		

演習科目		12単位必修				
授業科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
授業科目			1年	2年	3年	4年
日本文化演習(1) ★		212		1		
日本文化演習(2) ★		212		1		
日本文化演習(3) ★		213			1	
日本文化演習(4) ★		213			1	
卒業論文演習(1) ★		213				1
卒業論文演習(2) ★		213				1
卒業論文 ★		213				6

備考：2年次より古典文化コース、近現代文化コース、日本語学・日本語教育コースのいずれかに所属して学科専門教育科目を履修する。コース分けは1年次後期に行う。

日本語日本文化学科

3 近現代文化コース 課程表

科目名の★印は必修、☆印は選択必修

基礎科目						
8単位必修						
授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
古 典 文 化 入 門	★	211	2			
近 現 代 文 化 入 門	★	211	2			
日 本 語 学 入 門	★	211	2			
日 本 文 化 通 史	★	211	2			

基幹科目						
2単位必修 4単位選択必修						
授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
キャリア・リテラシー科目群	言 語 の 技 法 A	★	211	1		
	言 語 の 技 法 B	★	211	1		
	インター ネット・コ ミュニケーション	☆	212		2	
	日 文 キ ャ リ ア	☆	211	2		
	人 文 デ 一 タ ベ ー ス	☆	212		2	
	言 語 の 技 法 C	☆	212			1
	言 語 の 技 法 D	☆	212			1

基幹科目						
・所属コース科目群から 8 単位必修、 加えて 8 単位選択必修 ・他コース科目群も含めた中から 8 単位選択必修						
授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
古典文化コース科目群	古 典 文 化 概 論	☆	212		2	
	古 典 文 学 概 論	☆	212		2	
	古 典 文 化 史	☆	211	2		
	古 典 文 学 史	☆	211	2		
	古 典 文 化 講 読 (1)	☆	212		2	
	古 典 文 化 講 読 (2)	☆	212		2	
	古 典 文 学 講 読 (1)	☆	212		2	
	古 典 文 学 講 読 (2)	☆	212		2	
	古 典 文 化 講 義 (1)	☆	212		2	
	古 典 文 化 講 義 (2)	☆	212		2	
	漢 文 学 概 論 (1)	☆	212		2	

基幹科目						
4単位選択必修						
授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
実習科目群	日 本 文 化 実 習 A	☆	211	1		
	日 本 文 化 実 習 B	☆	211	1		
	日 本 文 化 実 習 C	☆	211	1		
	日 本 文 化 実 習 D	☆	211	1		
	書 道 A	☆	211	1		
	書 道 B	☆	211	1		
	書 道 C	☆	212		1	
	書 道 D	☆	212		1	

基幹科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
授業科目			1年	2年	3年	4年
近現代文化コース科目群	近現代文化概論 ★	212		2		
	近現代文学概論 ★	212		2		
	近現代文化史 ★	211	2			
	近現代文学史 ★	211	2			
	近現代文化研究(1) ☆	212		2		
	近現代文化研究(2) ☆	212		2		
	近現代文学講読(1) ☆	212		2		
	近現代文学講読(2) ☆	212		2		
	近現代文化講義(1) ☆	212		2		
	近現代文化講義(2) ☆	212		2		
日本語学・日本語教育コース科目群	現代芸術論(1) ☆	212		2		
	現代芸術論(2) ☆	212		2		
	日本語学概論(1) ☆	212		2		
	日本語学概論(2) ☆	212		2		
	日本語学講読(1) ☆	212		2		
	日本語学講読(2) ☆	212		2		
	日本語史(1) ☆	211	2			
	日本語史(2) ☆	211	2			
	日本語学講義A ☆	212		2		
	日本語学講義B ☆	212		2		

展開科目						
・所属コース展開科目群から6単位選択必修 ・全ての展開科目から10単位選択必修						
授業科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
1年	2年		3年	4年		
書道史 ★	212		2			
書論 ★	212		2			
生涯学習概論 ★	212		2			
図書館概論 ★	211	2				
図書館情報技術論 ★	212		2			
図書館制度・経営論 ★	213			2		
図書館サービス概論 ★	212		2			
情報サービス論 ★	212		2			
児童サービス論 ★	213			2		
情報サービス演習(1) ☆	213			1		
情報サービス演習(2) ☆	213			1		
図書館情報資源概論 ★	211	2				
情報資源組織論 ★	213		2			
情報資源組織演習(1) ☆	213			1		
情報資源組織演習(2) ☆	213			1		
図書館基礎特論 ★	212	2				
図書館サービス演習 ☆	212		1			
図書館情報資源特論 ★	212	2				
図書・図書館史 ★	211	1				
図書館施設論 ★	212	1				
学校経営と学校図書館 ★	213			2		
学校図書館メディアの構成 ☆	213			2		
学習指導と学校図書館 ☆	213			2		
読書と豊かな人間性 ☆	213			2		
情報メディアの活用 ☆	213			2		
博物館概論 ★	211	2				
博物館経営論 ★	213			2		
博物館資料論 ☆	212	2				

授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
コース共通科目群	博物館資料保存論 ☆	212		2		
	博物館展示論 ☆	212		2		
	博物館情報・メディア論 ☆	213			2	
	博物館教育論 ☆	213			2	
	博物館実習(1) ☆	213			2	
	博物館実習(2) ☆	213				1
古典文化コース科目群	日本文化総論 ☆	212		2		
	古典特殊講義A(1) ☆	213			2	
	古典特殊講義A(2) ☆	213			2	
	古典特殊講義B(1) ☆	213			2	
	古典特殊講義B(2) ☆	213			2	
	日本民俗学(1) ☆	213			2	
	日本民俗学(2) ☆	213			2	
	日本美術史(1) ☆	213			2	
	日本美術史(2) ☆	213			2	
	古典芸術論(1) ☆	213			2	
	古典芸術論(2) ☆	213			2	
	日本書誌学(1) ☆	213			2	
	日本書誌学(2) ☆	213			2	

授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
近現代文化コース科目群	近現代特殊講義A(1) ☆	213				2
	近現代特殊講義A(2) ☆	213				2
	近現代特殊講義B(1) ☆	213				2
	近現代特殊講義B(2) ☆	213				2
	ポップカルチャー論(1) ☆	213			2	
	ポップカルチャー論(2) ☆	213			2	
	比較文化・文学理論A ☆	213				2
	比較文化・文学理論B ☆	213				2
	メディア言説論(1) ☆	213				2
	メディア言説論(2) ☆	213				2
	日本文化創造A ☆	213				2
	日本文化創造B ☆	213				2
	日本語学特殊講義A(1) ☆	213				2
	日本語学特殊講義A(2) ☆	213				2
日本語学・日本語教育コース科目群	日本語学特殊講義B(1) ☆	213				2
	日本語学特殊講義B(2) ☆	213				2
	日本語学特殊講義C ☆	213			2	
	Cross-Cultural Communication ☆	212		2		
	日本語教育入門 ☆	211	2			
	日本語教授法 ☆	212		2		
	世界の日本語教育 ☆	212		2		
	日本語の音声・文字 ☆	212			2	
	日本語文法 ☆	212			2	
	日本語教育の諸問題 ☆	213			2	
	日本語教育演習A ☆	213			1	
	日本語教育演習B ☆	213			1	
	国内日本語教育実習 ☆	213			2	
	海外日本語教育実習 ☆	213			2	

展開科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
授業科目			1年	2年	3年	4年
リベラルアーツ科目群	西洋音楽史入門 ☆	212	2			
	西洋美術史 A ☆	212	2			
	西洋美術史 B ☆	212	2			
	音楽鑑賞 A ☆	213	2			
	音楽鑑賞 B ☆	213	2			
	邦楽鑑賞 ☆	212		2		
	中国語文化入門 ☆	212	2			
	フランス語文化入門 ☆	212	2			
	ドイツ語文化入門 ☆	212	2			
	ヨーロッパの文化と芸術 ☆	213		2		
	民族と芸術 ☆	213		2		
	金城シネマ ☆	212		2		
	日本の多文化事情 ☆	213		2		
	世界と日本のクラシック ☆	212		2		

展開科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
授業科目			1年	2年	3年	4年
英米文化研究 E ☆		213		2		
英語語彙研究 ☆		213		2		
英語意味研究 ☆		213		2		
地中海文化入門 ☆		212		2		
イタリア文化入門 ☆		212		2		
イタリア語入門(1) ☆		212		1		
イタリア語入門(2) ☆		212		1		

演習科目		12単位必修				
授業科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
授業科目			1年	2年	3年	4年
日本文化演習(1) ★		212		1		
日本文化演習(2) ★		212		1		
日本文化演習(3) ★		213			1	
日本文化演習(4) ★		213			1	
卒業論文演習(1) ★		213				1
卒業論文演習(2) ★		213				1
卒業論文 ★		213				6

備考：2年次より古典文化コース、近現代文化コース、日本語学・日本語教育コースのいずれかに所属して学科専門教育科目を履修する。コース分けは1年次後期に行う。

日本語日本文化学科

4 日本語学・日本語教育コース 課程表

科目名の★印は必修、☆印は選択必修

基礎科目						
8単位必修						
授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
古典文化入門	★	211	2			
近現代文化入門	★	211	2			
日本語学入門	★	211	2			
日本文化通史	★	211	2			

基幹科目						
2単位必修 4単位選択必修						
授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
キャリア・リテラシー科目群	言語の技法 A	★	211	1		
	言語の技法 B	★	211	1		
	インターネット・コミュニケーション	☆	212		2	
	日文キャリア	☆	211	2		
	人文データベース	☆	212		2	
	言語の技法 C	☆	212			1
	言語の技法 D	☆	212			1

基幹科目						
・所属コース科目群から 8 単位必修、 加えて 8 単位選択必修 ・他コース科目群も含めた中から 8 単位選択必修						
授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
古典文化コース科目群	古典文化概論	☆	212		2	
	古典文学概論	☆	212		2	
	古典文化史	☆	211	2		
	古典文学史	☆	211	2		
	古典文化講読(1)	☆	212		2	
	古典文化講読(2)	☆	212		2	
	古典文学講読(1)	☆	212		2	
	古典文学講読(2)	☆	212		2	
	古典文化講義(1)	☆	212		2	
	古典文化講義(2)	☆	212		2	
	漢文学概論(1)	☆	212		2	
	漢文学概論(2)	☆	212		2	

基幹科目						
4単位選択必修						
授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
実習科目群	日本文化実習 A	☆	211	1		
	日本文化実習 B	☆	211	1		
	日本文化実習 C	☆	211	1		
	日本文化実習 D	☆	211	1		
	書道 A	☆	211	1		
	書道 B	☆	211	1		
	書道 C	☆	212		1	
	書道 D	☆	212		1	

基幹科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
授業科目			1年	2年	3年	4年
近現代文化コース科目群	近現代文化概論 ☆	212		2		
	近現代文学概論 ☆	212		2		
	近現代文化史 ☆	211	2			
	近現代文学史 ☆	211	2			
	近現代文化研究(1) ☆	212		2		
	近現代文化研究(2) ☆	212		2		
	近現代文学講読(1) ☆	212		2		
	近現代文学講読(2) ☆	212		2		
	近現代文化講義(1) ☆	212		2		
	近現代文化講義(2) ☆	212		2		
日本語学・日本語教育コース科目群	現代芸術論(1) ☆	212		2		
	現代芸術論(2) ☆	212		2		
	日本語学概論(1) ★	212		2		
	日本語学概論(2) ★	212		2		
	日本語学講読(1) ★	212		2		
	日本語学講読(2) ★	212		2		
	日本語史(1) ☆	211	2			
	日本語史(2) ☆	211	2			
	日本語学講義A ☆	212		2		
	日本語学講義B ☆	212		2		

展開科目						
・所属コース展開科目群から6単位選択必修 ・全ての展開科目から10単位選択必修						
授業科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
1年	2年		3年	4年		
書道史 ☆	212		2			
書論 ☆	212		2			
生涯学習概論 ☆	212		2			
図書館概論 ☆	211	2				
図書館情報技術論 ☆	212		2			
図書館制度・経営論 ☆	213			2		
図書館サービス概論 ☆	212		2			
情報サービス論 ☆	212		2			
児童サービス論 ☆	213			2		
情報サービス演習(1) ☆	213			1		
情報サービス演習(2) ☆	213			1		
図書館情報資源概論 ☆	211	2				
情報資源組織論 ☆	213		2			
情報資源組織演習(1) ☆	213			1		
情報資源組織演習(2) ☆	213			1		
図書館基礎特論 ☆	212	2				
図書館サービス演習 ☆	212		1			
図書館情報資源特論 ☆	212	2				
図書・図書館史 ☆	211	1				
図書館施設論 ☆	212	1				
学校経営と学校図書館 ☆	213			2		
学校図書館メディアの構成 ☆	213			2		
学習指導と学校図書館 ☆	213			2		
読書と豊かな人間性 ☆	213			2		
情報メディアの活用 ☆	213			2		
博物館概論 ☆	211	2				
博物館経営論 ☆	213			2		
博物館資料論 ☆	212	2				

授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
コース共通科目群	博物館資料保存論 ☆	212		2		
	博物館展示論 ☆	212		2		
	博物館情報・メディア論 ☆	213			2	
	博物館教育論 ☆	213			2	
	博物館実習(1) ☆	213			2	
	博物館実習(2) ☆	213				1
古典文化コース科目群	日本文化総論 ☆	212		2		
	古典特殊講義A(1) ☆	213			2	
	古典特殊講義A(2) ☆	213			2	
	古典特殊講義B(1) ☆	213			2	
	古典特殊講義B(2) ☆	213			2	
	日本民俗学(1) ☆	213			2	
	日本民俗学(2) ☆	213			2	
	日本美術史(1) ☆	213			2	
	日本美術史(2) ☆	213			2	
	古典芸術論(1) ☆	213			2	
	古典芸術論(2) ☆	213			2	
	日本書誌学(1) ☆	213			2	
	日本書誌学(2) ☆	213			2	

授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
近現代文化コース科目群	近現代特殊講義A(1) ☆	213				2
	近現代特殊講義A(2) ☆	213				2
	近現代特殊講義B(1) ☆	213				2
	近現代特殊講義B(2) ☆	213				2
	ポップカルチャー論(1) ☆	213			2	
	ポップカルチャー論(2) ☆	213			2	
	比較文化・文学理論A ☆	213				2
	比較文化・文学理論B ☆	213				2
	メディア言説論(1) ☆	213				2
	メディア言説論(2) ☆	213				2
	日本文化創造A ☆	213				2
	日本文化創造B ☆	213				2
	日本語学特殊講義A(1) ☆	213				2
	日本語学特殊講義A(2) ☆	213				2
日本語学・日本語教育コース科目群	日本語学特殊講義B(1) ☆	213				2
	日本語学特殊講義B(2) ☆	213				2
	日本語学特殊講義C ☆	213			2	
	Cross-Cultural Communication ☆	212		2		
	日本語教育入門 ☆	211	2			
	日本語教授法 ☆	212		2		
	世界の日本語教育 ☆	212		2		
	日本語の音声・文字 ☆	212			2	
	日本語文法 ☆	212			2	
	日本語教育の諸問題 ☆	213			2	
	日本語教育演習A ☆	213			1	
	日本語教育演習B ☆	213			1	
	国内日本語教育実習 ☆	213			2	
	海外日本語教育実習 ☆	213			2	

展開科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
授業科目			1年	2年	3年	4年
リベラルアーツ科目群	西洋音楽史入門 ☆	212	2			
	西洋美術史 A ☆	212	2			
	西洋美術史 B ☆	212	2			
	音楽鑑賞 A ☆	213	2			
	音楽鑑賞 B ☆	213	2			
	邦楽鑑賞 ☆	212		2		
	中国語文化入門 ☆	212	2			
	フランス語文化入門 ☆	212	2			
	ドイツ語文化入門 ☆	212	2			
	ヨーロッパの文化と芸術 ☆	213		2		
	民族と芸術 ☆	213		2		
	金城シネマ ☆	212		2		
	日本の多文化事情 ☆	213		2		
	世界と日本のクラシック ☆	212		2		
	英米文化研究 A ☆	213		2		
	英米文化研究 B ☆	213		2		
	英米文化研究 C ☆	213		2		
	英米文化研究 D ☆	213		2		

展開科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
授業科目			1年	2年	3年	4年
英米文化研究 E ☆		213		2		
英語語彙研究 ☆		213		2		
英語意味研究 ☆		213		2		
地中海文化入門 ☆		212		2		
イタリア文化入門 ☆		212		2		
イタリア語入門 (1) ☆		212		1		
イタリア語入門 (2) ☆		212		1		

演習科目		12単位必修				
授業科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
授業科目			1年	2年	3年	4年
日本文化演習 (1) ★		212		1		
日本文化演習 (2) ★		212		1		
日本文化演習 (3) ★		213			1	
日本文化演習 (4) ★		213			1	
卒業論文演習 (1) ★		213				1
卒業論文演習 (2) ★		213				1
卒業論文 ★		213				6

備考：2年次より古典文化コース、近現代文化コース、日本語学・日本語教育コースのいずれかに所属して学科専門教育科目を履修する。コース分けは1年次後期に行う。

英語英米文化学科

5 英米文化研究コース 課程表

科目名の★印は必修、☆印は選択必修

基礎科目					
8単位必修					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
英語圏文化入門 ★	221	2			
英米文学の世界 ★	221	2			
英語研究入門 A ★	221	2			
英語研究入門 B ★	221	2			

基礎科目					
31単位必修					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
Teacher-Student English Interview ★	221	1			
Reading/Writing (1) ★	221	1			
Reading/Writing (2) ★	221	1			
Reading/Writing (3) ★	222		1		
Reading/Writing (4) ★	222		1		
Reading/Writing (5) ★	223			1	
Reading/Writing (6) ★	223			1	
Reading/Writing (7) ★	223				1
Reading/Writing (8) ★	223				1
Speaking/Writing (1) ★	221	1			
Speaking/Writing (2) ★	221	1			
Speaking/Writing (3) ★	222		1		
Speaking/Writing (4) ★	222		1		
Speaking/Writing (5) ★	223			1	
Speaking/Writing (6) ★	223			1	
Speaking/Writing (7) ★	223				1
Speaking/Writing (8) ★	223				1

基幹科目					
授業科目	科目分類番号	223			
		1年	2年	3年	4年
Listening/Pronunciation (1) ★	221	1			
Listening/Pronunciation (2) ★	221	1			
Extensive English (1) ★	222		1		
Extensive English (2) ★	222		1		
Business Communication (1) ★	221	1			
Business Communication (2) ★	221	1			
Business Communication (3) ★	222		1		
Business Communication (4) ★	222		1		
Business Communication (5) ★	223			1	
Business Communication (6) ★	223			1	
Business Communication (7) ★	223				1
Business Communication (8) ★	223				1
English Grammar (1) ★	221	1			
English Grammar (2) ★	221	1			
留学のための英語 ☆	222	1			
基礎英文法 ☆	221	1			
TOEFL・IELTS演習 ☆	221	1			
Advanced Speaking A ☆	223			1	
Advanced Speaking B ☆	223			1	

展開科目

- ・所属コース展開科目から 8 単位必修
- ・所属コースの展開科目のうち、必修科目を除く科目から 8 単位選択必修。および全ての展開科目から 9 単位(英語スペシャリスト養成プログラム履修者は 5 単位)選択必修

授業科目

科目
分類
番号

開講基準年次及び単位数	1年	2年	3年	4年
-------------	----	----	----	----

学科 共通 展開 科目	通訳入門 (1) ☆	222	2		
	通訳入門 (2) ☆	222	2		
	翻訳入門 (1) ☆	222	2		
	翻訳入門 (2) ☆	222	2		
	翻訳演習 (1) ☆	223		1	
	翻訳演習 (2) ☆	223		1	
	翻訳演習 (3) ☆	223			1
	翻訳演習 (4) ☆	223			1
	英語教育研究 A ☆	223	2		
	英語教育研究 B ☆	223	2		
	Topics in Language and Culture A ☆	223	2		
	Topics in Language and Culture B ☆	223	2		
	Topics in Language and Culture C ☆	223	2		
	Topics in Language and Culture D ☆	223	2		
	アメリカ経済論 ☆	222		2	
	アメリカ社会論 ☆	222		2	
	異文化間コミュニケーション ☆	222	2		
	異文化理解 A ☆	223	2		
	異文化理解 B ☆	223	2		
	異文化理解 C ☆	223	2		
	異文化理解 D ☆	223	2		
	異文化理解 E ☆	223			2
	異文化理解 F ☆	223		2	

展開科目

授業科目

科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
	1年	2年	3年	4年

文学部 リベラルアーツ 科目群	古典文化講読 (1) ☆	222	2		
	古典文化講読 (2) ☆	222	2		
	古典文学講読 (1) ☆	222	2		
	古典文学講読 (2) ☆	222	2		
	近現代文化講義 (1) ☆	222	2		
	近現代文化講義 (2) ☆	222	2		
	現代芸術論 (1) ☆	222	2		
	現代芸術論 (2) ☆	222	2		
	民族と芸術 ☆	223		2	
	金城シネマ ☆	222	2		
	日本の多文化事情 ☆	223	2		
	世界と日本のクラシック ☆	222	2		
	中国語文化入門 ☆	221	2		
	フランス語文化入門 ☆	221	2		
	ドイツ語文化入門 ☆	221	2		
	イタリア文化入門 ☆	223		2	
	地中海文化入門 ☆	223		2	
	日本語教育入門 ☆	221	2		
	日本語教授法 ☆	222		2	
	世界の日本語教育 ☆	222		2	
	音楽鑑賞 A ☆	222	2		
	音楽鑑賞 B ☆	223	2		
	邦楽鑑賞 ☆	222		2	
	イタリア語入門 (1) ☆	222		1	
	イタリア語入門 (2) ☆	222		1	

授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
英米文化研究コース展開科目	イギリス文化概論 ★	222		2		
	イギリス文学概論 ★	222		2		
	アメリカ文化概論 ★	222		2		
	アメリカ文学概論 ★	222		2		
	英米文化研究 A ☆	222		2		
	英米文化研究 B ☆	222		2		
	英米文化研究 C ☆	222		2		
	英米文化研究 D ☆	222		2		
	英米文化研究 E ☆	222		2		
	英米文学研究 A ☆	223			2	
	英米文学研究 B ☆	223			2	
	英米文学研究 C ☆	223			2	
	英米文学研究 D ☆	223			2	
	英米文学研究 E ☆	222		2		
	英米文学研究 F ☆	222		2		
	英米文学研究 G ☆	222		2		
	日英文化研究 A ☆	223			2	
	日英文化研究 B ☆	223			2	
	日米文化研究 A ☆	223			2	
	日米文化研究 B ☆	223			2	
	ヨーロッパの文化と芸術 ☆	222		2		
	西洋美術史 A ☆	221	2			
	西洋美術史 B ☆	221	2			
	西洋音楽史入門 ☆	221	2			

授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
英語研究コース展開科目	英語構造研究 (1) ☆	222		2		
	英語構造研究 (2) ☆	222		2		
	英語音声研究 (1) ☆	222		2		
	英語音声研究 (2) ☆	222		2		
	英語語彙研究 ☆	222			2	
	英語意味研究 ☆	222			2	
	言語コミュニケーション理論A ☆	223			2	
	言語コミュニケーション理論B ☆	223			2	
	言語習得特論 A ☆	223				2
	言語習得特論 B ☆	223				2
	英語学特殊研究 A ☆	223				2
	英語学特殊研究 B ☆	223				2
	日本語学特殊講義 A (1) ☆	223				2
	日本語学特殊講義 A (2) ☆	223				2
	日本語学特殊講義 B (1) ☆	223			2	
	日本語学特殊講義 B (2) ☆	223			2	
	日本語学特殊講義 C ☆	223				2
	日本語の音声・文字 ☆	223				2
	日本語文法 ☆	223				2
	日本語教育の諸問題 ☆	223				2
	世界の英語 ☆	223				2
	社会言語学研究 ☆	223			2	
	Cross-Cultural Communication ☆	222		2		

授業科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
キッズ・イングリッシュ・プログラム展開科目	早期英語教育研究 ☆	223		2		
	早期英語教育教材研究 ☆	223		2		
	Classroom English ☆	223			1	
	早期英語教育実習 ☆	223			1	
	小学校英語 ☆	222	2			
	English for Hospitality ☆	222	1			
	コミュニケーションスキル ☆	222	1			
	エアラインビジネス論 ☆	222	2			
エアラインプログラム展開科目	エアラインサービス論 ☆	223		2		
	ホスピタリティ論 ☆	223		2		
	サービスコミュニケーション論 ☆	223		2		
	サービスコミュニケーション演習 ☆	223		1		
	エアライン実地研修 ☆	223		1		

演習科目						
英語スペシャリスト養成プログラム履修者は8単位必修						
授業科目			科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数		
				1年	2年	3年
通訳演習A(1) ☆	223				1	
通訳演習A(2) ☆	223				1	
通訳演習A(3) ☆	223					1
通訳演習A(4) ☆	223					1
通訳演習B(1) ☆	223				1	
通訳演習B(2) ☆	223				1	
通訳演習B(3) ☆	223					1
通訳演習B(4) ☆	223					1

演習科目						
2単位必修						
授業科目			科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数		
				1年	2年	3年
基礎演習(1) ★	221	1				
基礎演習(2) ★	221	1				

演習科目						
4単位必修 (ただし、英語スペシャリスト養成プログラム履修者は除く)						
授業科目			科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数		
				1年	2年	3年
専門演習(1) ★	223				1	
専門演習(2) ★	223					1
専門演習(3) ★	223					1
専門演習(4) ★	223					1
卒業研究	223					6

備考：①Business Communication(1)～(8)の単位修得のための必須条件として、1年次から4年次にかけて英語英米文化学科が指定する年2回のTOEIC L&Rを受験することとする。
 ②2年次より英米文化研究コース、英語研究コースのいずれかに所属して学科専門教育科目を履修する。そのためのコース分けを1年次後期に行う。
 ③英語英米文化学科に、英語スペシャリスト養成プログラム、エアラインプログラム、及びキッズ・イングリッシュ・プログラムを設置する。

英語英米文化学科

6 英語研究コース 課程表

科目名の★印は必修、☆印は選択必修

基礎科目					
8単位必修					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
英語圏文化入門 ★	221	2			
英米文学の世界 ★	221	2			
英語研究入門 A ★	221	2			
英語研究入門 B ★	221	2			

基礎科目					
31単位必修					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
Teacher-Student English Interview ★	221	1			
Reading/Writing (1) ★	221	1			
Reading/Writing (2) ★	221	1			
Reading/Writing (3) ★	222		1		
Reading/Writing (4) ★	222		1		
Reading/Writing (5) ★	223			1	
Reading/Writing (6) ★	223			1	
Reading/Writing (7) ★	223				1
Reading/Writing (8) ★	223				1
Speaking/Writing (1) ★	221	1			
Speaking/Writing (2) ★	221	1			
Speaking/Writing (3) ★	222		1		
Speaking/Writing (4) ★	222		1		
Speaking/Writing (5) ★	223			1	
Speaking/Writing (6) ★	223			1	
Speaking/Writing (7) ★	223				1
Speaking/Writing (8) ★	223				1

基幹科目					
授業科目	科目分類番号	223			
		1年	2年	3年	4年
Listening/Pronunciation (1) ★	221	1			
Listening/Pronunciation (2) ★	221	1			
Extensive English (1) ★	222		1		
Extensive English (2) ★	222		1		
Business Communication (1) ★	221	1			
Business Communication (2) ★	221	1			
Business Communication (3) ★	222		1		
Business Communication (4) ★	222		1		
Business Communication (5) ★	223			1	
Business Communication (6) ★	223			1	
Business Communication (7) ★	223				1
Business Communication (8) ★	223				1
English Grammar (1) ★	221	1			
English Grammar (2) ★	221	1			
留学のための英語 ☆	222	1			
基礎英文法 ☆	221	1			
TOEFL・IELTS演習 ☆	221	1			
Advanced Speaking A ☆	223			1	
Advanced Speaking B ☆	223			1	

展開科目						
授業科目			科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数		
	1年	2年	3年	4年		
通訳入門(1) ☆	222		2			
通訳入門(2) ☆	222		2			
翻訳入門(1) ☆	222		2			
翻訳入門(2) ☆	222		2			
翻訳演習(1) ☆	223			1		
翻訳演習(2) ☆	223			1		
翻訳演習(3) ☆	223				1	
翻訳演習(4) ☆	223					1
英語教育研究A ☆	223		2			
英語教育研究B ☆	223		2			
Topics in Language and Culture A ☆	223			2		
Topics in Language and Culture B ☆	223			2		
Topics in Language and Culture C ☆	223			2		
Topics in Language and Culture D ☆	223			2		
アメリカ経済論 ☆	222				2	
アメリカ社会論 ☆	222				2	
異文化間コミュニケーション ☆	222		2			
異文化理解A ☆	223			2		
異文化理解B ☆	223			2		
異文化理解C ☆	223			2		
異文化理解D ☆	223			2		
異文化理解E ☆	223				2	
異文化理解F ☆	223				2	

展開科目						
授業科目			科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数		
	1年	2年	3年	4年		
古典文化講読(1) ☆	222		2			
古典文化講読(2) ☆	222		2			
古典文学講読(1) ☆	222		2			
古典文学講読(2) ☆	222		2			
近現代文化講義(1) ☆	222		2			
近現代文化講義(2) ☆	222		2			
現代芸術論(1) ☆	222		2			
現代芸術論(2) ☆	222		2			
民族と芸術 ☆	223			2		
金城シネマ ☆	222		2			
日本の多文化事情 ☆	223		2			
世界と日本のクラシック ☆	222		2			
中国語文化入門 ☆	221	2				
フランス語文化入門 ☆	221	2				
ドイツ語文化入門 ☆	221	2				
イタリア文化入門 ☆	223		2			
地中海文化入門 ☆	223		2			
日本語教育入門 ☆	221	2				
日本語教授法 ☆	222		2			
世界の日本語教育 ☆	222		2			
音楽鑑賞A ☆	222	2				
音楽鑑賞B ☆	223	2				
邦楽鑑賞 ☆	222		2			
イタリア語入門(1) ☆	222		1			
イタリア語入門(2) ☆	222		1			

授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
英米文化研究コース展開科目	イギリス文化概論 ☆	222		2		
	イギリス文学概論 ☆	222		2		
	アメリカ文化概論 ☆	222		2		
	アメリカ文学概論 ☆	222		2		
	英米文化研究 A ☆	222		2		
	英米文化研究 B ☆	222		2		
	英米文化研究 C ☆	222		2		
	英米文化研究 D ☆	222		2		
	英米文化研究 E ☆	222		2		
	英米文学研究 A ☆	223			2	
	英米文学研究 B ☆	223			2	
	英米文学研究 C ☆	223			2	
	英米文学研究 D ☆	223			2	
	英米文学研究 E ☆	222		2		
	英米文学研究 F ☆	222		2		
	英米文学研究 G ☆	222		2		
	日英文化研究 A ☆	223			2	
	日英文化研究 B ☆	223			2	
	日米文化研究 A ☆	223			2	
	日米文化研究 B ☆	223			2	
	ヨーロッパの文化と芸術 ☆	222		2		
	西洋美術史 A ☆	221	2			
	西洋美術史 B ☆	221	2			
	西洋音楽史入門 ☆	221	2			

授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
英語研究コース展開科目	英語構造研究(1) ★	222		2		
	英語構造研究(2) ★	222		2		
	英語音声研究(1) ★	222		2		
	英語音声研究(2) ★	222		2		
	英語語彙研究 ☆	222			2	
	英語意味研究 ☆	222			2	
	言語コミュニケーション理論A ☆	223			2	
	言語コミュニケーション理論B ☆	223			2	
	言語習得特論A ☆	223			2	
	言語習得特論B ☆	223			2	
	英語学特殊研究A ☆	223				2
	英語学特殊研究B ☆	223				2
	日本語学特殊講義A(1) ☆	223				2
	日本語学特殊講義A(2) ☆	223				2
	日本語学特殊講義B(1) ☆	223			2	
	日本語学特殊講義B(2) ☆	223			2	
	日本語学特殊講義C ☆	223			2	
	日本語の音声・文字 ☆	223			2	
	日本語文法 ☆	223			2	
	日本語教育の諸問題 ☆	223			2	
	世界の英語 ☆	223			2	
	社会言語学研究 ☆	223			2	
	Cross-Cultural Communication ☆	222		2		

授業科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
キッズ・イングリッシュ・プログラム展開科目	早期英語教育研究 ☆	223		2		
	早期英語教育教材研究 ☆	223		2		
	Classroom English ☆	223			1	
	早期英語教育実習 ☆	223			1	
	小学校英語 ☆	222	2			
	English for Hospitality ☆	222	1			
	コミュニケーションスキル ☆	222	1			
	エアラインビジネス論 ☆	222	2			
	エアラインサービス論 ☆	223		2		
	ホスピタリティ論 ☆	223		2		
エアラインプログラム展開科目	サービスコミュニケーション論 ☆	223		2		
	サービスコミュニケーション演習 ☆	223		1		
	エアライン実地研修 ☆	223		1		

演習科目						
英語スペシャリスト養成プログラム履修者は8単位必修						
授業科目			科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数		
				1年	2年	3年
通訳演習A(1) ☆	223				1	
通訳演習A(2) ☆	223				1	
通訳演習A(3) ☆	223					1
通訳演習A(4) ☆	223					1
通訳演習B(1) ☆	223				1	
通訳演習B(2) ☆	223				1	
通訳演習B(3) ☆	223					1
通訳演習B(4) ☆	223					1

演習科目						
2単位必修						
授業科目			科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数		
				1年	2年	3年
基礎演習(1) ☆	221	1				
基礎演習(2) ☆	221	1				

演習科目						
4単位必修 (ただし、英語スペシャリスト養成プログラム履修者は除く)						
授業科目			科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数		
				1年	2年	3年
専門演習(1) ☆	223				1	
専門演習(2) ☆	223					1
専門演習(3) ☆	223					1
専門演習(4) ☆	223					1
卒業研究	223					6

備考：①Business Communication(1)～(8)の単位修得のための必須条件として、1年次から4年次にかけて英語英米文化学科が指定する年2回のTOEIC L&Rを受験することとする。
 ②2年次より英米文化研究コース、英語研究コースのいずれかに所属して学科専門教育科目を履修する。そのためのコース分けを1年次後期に行う。
 ③英語英米文化学科に、英語スペシャリスト養成プログラム、エアラインプログラム、及びキッズ・イングリッシュ・プログラムを設置する。

7 外国語コミュニケーション学科 課程表

科目名の★印は必修、★以外の印は選択必修

基礎科目					
必修 6 単位 選択必修 4 単位					
授 業 科 目	科 目 分 類 番 号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
海 洋 コ ー ス 入 門 ★	251	2			
大 陸 コ ー ス 入 門 ★	251	2			
デ イ ベ ー ト 入 門 ★	251	2			
デ イ ベ ー ト A ☆	252		2		
デ イ ベ ー ト B ☆	252		2		
デ イ ベ ー ト C ☆	252		2		
デ イ ベ ー ト D ☆	252		2		
中 国 語 文 化 入 門 ☆	251	2			
フ ラ ン ス 語 文 化 入 門 ☆	251	2			
ド イ ツ 語 文 化 入 門 ☆	251	2			

基幹科目					
各言語 (◆●■) から 1 言語を選択 6 単位選択必修					
授 業 科 目	科 目 分 類 番 号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
基 础 中 国 語 (1) ◆	252	1			
基 础 中 国 語 (2) ◆	252	1			
コ ミ ュ ニ ケ ー シ オ ン 中 国 語 A(1) ◆	252	1			
コ ミ ュ ニ ケ ー シ オ ン 中 国 語 A(2) ◆	252	1			
コ ミ ュ ニ ケ ー シ オ ン 中 国 語 B(1) ◆	252	1			
コ ミ ュ ニ ケ ー シ オ ン 中 国 語 B(2) ◆	252	1			
基 础 フ ラ ン ス 語 (1) ●	252	1			
基 础 フ ラ ン ス 語 (2) ●	252	1			
コ ミ ュ ニ ケ ー シ オ ン フ ラ ン ス 語 A(1) ●	252	1			
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ソ ン フ ラ ン ス 語 A(2) ●	252	1			
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ソ ン フ ラ ン ス 語 B(1) ●	252	1			
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ソ ン フ ラ ン ス 語 B(2) ●	252	1			
基 础 ド イ ツ 語 (1) ■	252	1			
基 础 ド イ ツ 語 (2) ■	252	1			
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ソ ン ド イ ツ 語 A(1) ■	252	1			
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ソ ン ド イ ツ 語 A(2) ■	252	1			
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ソ ン ド イ ツ 語 B(1) ■	252	1			
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ソ ン ド イ ツ 語 B(2) ■	252	1			

基幹科目					
6 単位必修					
授 業 科 目	科 目 分 類 番 号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
Grammar (1) ★	252	1			
Grammar (2) ★	252	1			
Reading (1) ★	252	1			
Reading (2) ★	252	1			
Conversation (1) ★	252	1			
Conversation (2) ★	252	1			

基幹科目						
6 単位必修						
授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
中級外國語	Reading and Writing (1) ★	252	1			
	Reading and Writing (2) ★	252	1			
	TOEIC Intermediate (1) ★	252	1			
	TOEIC Intermediate (2) ★	252	1			
	Oral Presentation (1) ★	252	1			
	Oral Presentation (2) ★	252	1			

基幹科目						
各言語(◎△▲▽)から1言語を選択 2単位選択必修						
授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
上級外國語	Language Camp ◎	253	1			
	Advanced English A ◎	253		1		
	Advanced English B ◎	253		1		
	上級中国語(1) △	253		1		
	上級中国語(2) △	253		1		
	上級フランス語(1) ▲	253		1		
	上級フランス語(2) ▲	253		1		
	上級ドイツ語(1) ▽	253		1		
	上級ドイツ語(2) ▽	253		1		

基幹科目						
各言語(◇○□)から1言語を選択 6単位選択必修						
授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
中級外國語	中級中国語(1) ◇	252	1			
	中級中国語(2) ◇	252	1			
	読解中級中国語(1) ◇	252	1			
	読解中級中国語(2) ◇	252	1			
	コミュニケーション中級中国語(1) ◇	252	1			
	コミュニケーション中級中国語(2) ◇	252	1			
	中級フランス語(1) ○	252	1			
	中級フランス語(2) ○	252	1			
	読解中級フランス語(1) ○	252	1			
	読解中級フランス語(2) ○	252	1			
	コミュニケーション中級フランス語(1) ○	252	1			
	コミュニケーション中級フランス語(2) ○	252	1			
	中級ドイツ語(1) □	252	1			
	中級ドイツ語(2) □	252	1			
	読解中級ドイツ語(1) □	252	1			
	読解中級ドイツ語(2) □	252	1			
	コミュニケーション中級ドイツ語(1) □	252	1			
	コミュニケーション中級ドイツ語(2) □	252	1			

基幹科目						
海外キャリアアッププログラムから6単位選択必修						
授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
海外キャリアアッププログラム	TOEIC入門 ☆	252	1			
	TOEFL A ☆	253	1			
	TOEFL B ☆	253		1		
	英語スピーチ強化講座A ☆	253			1	
	英語スピーチ強化講座B ☆	253			1	
	English Communication (1) ☆	253			1	
	English Communication (2) ☆	253			1	
	英語圏セメスター留学 ☆	253			10	
	海外キャリアトレーニング(1) ☆	253		2		
	海外キャリアトレーニング(2) ☆	253			2	
	検定中国語A ☆	252	1			
	検定中国語B ☆	252		1		
	検定中国語C ☆	252		1		
	検定フランス語A ☆	252	1			
	検定フランス語B ☆	252		1		
	検定フランス語C ☆	252		1		

基幹科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
授業科目			1年	2年	3年	4年
海外キャリアアッププログラム	検定ドイツ語 A ☆	252	1			
	検定ドイツ語 B ☆	252		1		
	検定ドイツ語 C ☆	252		1		
	実践中国語 A ☆	252	1			
	実践中国語 B ☆	252	1			
	実践中国語 C ☆	252		1		
	実践中国語 D ☆	252		1		
	実践中国語 E ☆	253			1	
	実践中国語 F ☆	253			1	
	実践フランス語 A ☆	252	1			
	実践フランス語 B ☆	252	1			
	実践フランス語 C ☆	252		1		
	実践フランス語 D ☆	252		1		
	実践フランス語 E ☆	253			1	
	実践フランス語 F ☆	253			1	
	実践ドイツ語 A ☆	252	1			
	実践ドイツ語 B ☆	252	1			
	実践ドイツ語 C ☆	252		1		
	実践ドイツ語 D ☆	252		1		
	実践ドイツ語 E ☆	253			1	
	実践ドイツ語 F ☆	253			1	
コミュニケーション上級中国語(1) ☆		253		1		
コミュニケーション上級中国語(2) ☆		253		1		
コミュニケーション上級フランス語(1) ☆		253		1		
コミュニケーション上級フランス語(2) ☆		253		1		
コミュニケーション上級ドイツ語(1) ☆		253		1		
コミュニケーション上級ドイツ語(2) ☆		253		1		

展開科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
理論研究科目群から6単位選択必修			1年	2年	3年	4年
理論研究科目群	比較文化研究 ☆	252		2		
	テクスト論 ☆	252		2		
	社会と文化 ☆	252		2		
	文化社会学研究 ☆	252		2		
	文化人類学研究 ☆	252		2		
	社会言語学研究 ☆	252		2		
	ポストコロニアル研究 ☆	252		2		
	民族と芸術 ☆	252		2		
	ジェンダー研究 ☆	252		2		

展開科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
地域研究科目群・日本語教育プログラム・英語文化圏科目群・研修科目群・文学部リベラルアーツから18単位選択必修			1年	2年	3年	4年
地域研究科目群	中国古代文化研究 ☆	252		2		
	中国近現代社会研究 ☆	252		2		
	華僑・華人文化研究 ☆	252		2		
	近世フランス文化研究 ☆	252		2		
	近現代フランス文化研究 ☆	252		2		
	カリブ海・アフリカ文化研究 ☆	252		2		
	中世・近世・近代ドイツ文化研究 ☆	252		2		
	近現代ドイツ文化研究 ☆	252		2		
	イスス・オーストリア文化研究 ☆	252		2		
	イタリア文化入門 ☆	251		2		
	地中海文化入門 ☆	251		2		
	異文化理解 A ☆	252		2		
	異文化理解 B ☆	252		2		
	異文化理解 C ☆	252		2		
	異文化理解 D ☆	252		2		
	異文化理解 E ☆	252		2		
	異文化理解 F ☆	252		2		

授業科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
日本語教育プログラム	日本語教育入門 ☆	251	2			
	日本語教授法 ☆	252		2		
	世界の日本語教育 ☆	252		2		
	日本語の音声・文字 ☆	253			2	
	日本語文法 ☆	253			2	
	日本語教育の諸問題 ☆	253			2	
	日本語教育演習A ☆	253			1	
	日本語教育演習B ☆	253			1	
	日本語学概論(1) ☆	252			2	
	日本語学概論(2) ☆	252			2	
	日本語学講読(1) ☆	252		2		
	日本語学講読(2) ☆	252			2	
	日本語史(1) ☆	252		2		
	日本語史(2) ☆	252		2		
	日本語学講義A ☆	252		2		
	日本語学講義B ☆	252		2		
	日本語学講義C ☆	252			2	
	日本語学講義D ☆	252		2		
	日本語学講義E ☆	252			2	
	国内日本語教育実習 ☆	253			2	
	海外日本語教育実習 ☆	253			2	

授業科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
英語文化圈科目群	英語学 ☆	252		2		
	英米文学の世界 ☆	252		2		
	世界の英語 ☆	253			2	
	日英文化研究 A ☆	253			2	
	日英文化研究 B ☆	253			2	
	日米文化研究 A ☆	253			2	
	日米文化研究 B ☆	253			2	
	イギリス文化概論 ☆	252		2		
	アメリカ文化概論 ☆	252		2		
	イギリス文学概論 ☆	252		2		
	アメリカ文学概論 ☆	252		2		
研修科目群	海洋文化研修 ☆	252		2		
	海外英語研修 ☆	252	2			
	海外中国語研修 ☆	252	2			
	海外フランス語研修 ☆	252	2			
	海外ドイツ語研修 ☆	252	2			
	海外短期研修 ☆	252	2			

授業科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
文学部リベラルアーツ	古典文化講読(1) ☆	252		2		
	古典文化講読(2) ☆	252		2		
	古典文学講読(1) ☆	252		2		
	古典文学講読(2) ☆	252		2		
	近現代文化講義(1) ☆	252		2		
	近現代文化講義(2) ☆	252		2		
	現代芸術論(1) ☆	252		2		
	現代芸術論(2) ☆	252		2		
	英米文化研究A ☆	252		2		
	英米文化研究B ☆	252		2		
	英米文化研究C ☆	253		2		
	英米文化研究D ☆	252		2		
	英米文化研究E ☆	252		2		
	英語語彙研究 ☆	252		2		
	英語意味研究 ☆	252		2		
	金城シネマ ☆	252		2		
	Cross-Cultural Communication ☆	252		2		
	日本の多文化事情 ☆	252		2		
	世界と日本のクラシック ☆	252		2		
	ヨーロッパの文化と芸術 ☆	252		2		
	イタリア語入門(1) ☆	252		1		
	イタリア語入門(2) ☆	252		1		

授業科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
	西洋音楽史入門 ☆	252	2			
	西洋美術史A ☆	252	2			
	西洋美術史B ☆	252	2			
	音楽鑑賞A ☆	252	2			
	音楽鑑賞B ☆	253	2			
	邦楽鑑賞 ☆	252		2		

演習科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
	基礎演習(1) ★	252	1			
	基礎演習(2) ★	252	1			
	専門演習(1) ★	252		1		
	専門演習(2) ★	252		1		
	専門演習(3) ★	253		1		
	専門演習(4) ★	253		1		
	専門演習(5) ★	253			1	
	専門演習(6) ★	253			1	
	卒業研究プロジェクト ☆	253				6

備考：専門演習(1)～(6)について、大陸文化コースと海洋文化コースに分ける。コース分けは1年次後期に行う。

音楽芸術学科

8 ピアノコース 課程表

科目名の★印は必修、☆印は選択必修
各科目区分の条件を満たし、70単位以上を修得すること

基礎科目					
10 単位必修					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
芸術学 ★	262		2		
ソルフェージュ ★	262	2			
音楽理論 ★	262	2			
西洋音楽史 A ★	262		2		
西洋音楽史 B ★	262		2		

基幹科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
管楽器奏法(1)	262	2			
管楽器奏法(2)	262	2			
管楽器奏法(3)	262		2		
管楽器奏法(4)	262		2		
管楽器奏法(5)	263			2	
管楽器奏法(6)	263			2	
管楽器奏法(7)	263				2
管楽器奏法(8)	263				2

基幹科目					
12単位コース必修 声楽(1)~(8)・管楽器奏法(1)~(8)は履修不可					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
ピアノ奏法(1) ★	262	2			
ピアノ奏法(2) ★	262	2			
ピアノ奏法(3) ★	262		2		
ピアノ奏法(4) ★	262		2		
ピアノ奏法(5) ★	263			2	
ピアノ奏法(6) ★	263			2	
ピアノ奏法(7) ☆	263				2
ピアノ奏法(8) ☆	263				2
声楽(1)	262	2			
声楽(2)	262	2			
声楽(3)	262		2		
声楽(4)	262		2		
声楽(5)	263			2	
声楽(6)	263			2	
声楽(7)	263				2
声楽(8)	263				2

演習科目					
4 単位必修					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
音楽芸術学演習(1) ★	262	1			
音楽芸術学演習(2) ★	262	1			
音楽芸術学演習(3) ★	263				1
音楽芸術学演習(4) ★	263				1
卒業演奏・卒業作品・卒業論文 ☆	263				6

展開科目					
展開科目から40単位選択必修 (コース必修、▲から2単位選択必修、○から2単位選択必修、△から2単位選択必修を含む)					
授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数		
A群 (音楽理論/音楽実技)	和声	262	2		
	管弦楽編曲法	263	2		
	合唱編曲法	263	2		
	作曲学	263		2	
	指揮法	262	2		
	合唱唱法	262	2		
	合唱指導法	263	2		
	吹奏楽指導法	263		2	
	副科ピアノ奏法A ※履修不可	261	1		
	副科ピアノ奏法B ※履修不可	261	1		
	副科声楽(1)	262	1		
	副科声楽(2)	262	1		
	副科管楽器	261	1		
	ピアノアンサンブルA	262	2		
	ピアノアンサンブルB	262	2		
	室内アンサンブルA	263		2	
	室内アンサンブルB	263		2	
	オペラアンサンブル	263	2		
	ステージアクティング	263	2		
	オペラ演習	263		2	
	声楽アンサンブル	263		2	
	管楽アンサンブルA ※履修不可	263	2		
	管楽アンサンブルB ※履修不可	263	2		
	管楽アンサンブルC ※履修不可	263	2		
	管楽アンサンブルD ※履修不可	263	2		

展開科目					
授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数		
			1年	2年	3年
	邦楽A	261			1
	邦楽B	261			1
	発音法	262	2		
	自己表現トレーニング	262	2		
	演奏家のための身体感覚レッスン	262		2	
	ピアニストのための脱力法	262		2	
A群 (音楽理論/音楽実技)	声楽伴奏演習	262		2	
	ソリスト育成特別レッスンA(1)	263		1	
	ソリスト育成特別レッスンA(2)	263		1	
	ソリスト育成特別レッスンB(1)	263			1
	ソリスト育成特別レッスンB(2)	263			1
	ソリスト育成特別レッスンC(1)	263			1
	ソリスト育成特別レッスンC(2)	263			1
	ピアノ指導法(1)	262		2	
	ピアノ指導法(2)	263		2	
	ピアノ教室レッスン実習	263		2	
	ヤマハグレード取得講座A	262	1		
	ヤマハグレード取得講座B	262	1		
	ヤマハグレード取得講座C	262	1		
	ヤマハグレード取得講座D	263	1		
	ヤマハグレード取得講座E	263	1		
	ヤマハグレード取得講座F	263	1		
	ヤマハグレード取得講座G	263	1		
	ヤマハグレード取得講座H	263		1	
	ヤマハグレード取得講座I	263		1	
	古典舞踏	262			2
	リトミック	262	2		

展開科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
授業科目			1年	2年	3年	4年
B群 (文化・鑑賞)	ヨーロッパの文化と芸術 ▲	262		2		
	ドイツ語文化入門 ▲	261	2			
	フランス語文化入門 ▲	261	2			
	イタリア文化入門 ▲	261		2		
	イタリア語入門(1) ☆	261		1		
	イタリア語入門(2) ☆	261		1		
	西洋音楽史入門 ☆	261	2			
	西洋美術史 A ○	262	2			
	西洋美術史 B ○	262	2			
	音楽と文学 △	262			2	
	音楽と美術 △	263			2	
	日本音楽論 ☆	262			2	
	民族音楽論 ☆	262			2	
	音楽鑑賞 A ☆	262	2			
	音楽鑑賞 B ☆	263	2			
	邦楽鑑賞 ☆	261		2		

展開科目		科目 分類 番号	開講基準年次及び単位数			
授業科目			1年	2年	3年	4年
C群 (リベラルアーツ)	金城シネマ ☆	261		2		
	世界と日本のクラシック ☆	262		2		
	民族と芸術 ☆	262			2	
	地中海文化入門 ☆	261			2	
	中国語文化入門 ☆	261	2			
	日本語教育入門 ☆	262	2			
	日本語教授法 ☆	263		2		
	世界の日本語教育 ☆	263		2		
	Cross-Cultural Communication ☆	263		2		
	日本の多文化事情 ☆	262		2		
	英米文化研究 A ☆	262		2		
	英米文化研究 B ☆	262		2		
	英米文化研究 C ☆	262		2		
	英米文化研究 D ☆	262		2		
	英米文化研究 E ☆	262		2		
	英語語彙研究 ☆	262			2	
	英語意味研究 ☆	262			2	
	古典文化講読(1) ☆	262		2		
	古典文化講読(2) ☆	262		2		
	古典文学講読(1) ☆	262		2		
	古典文学講読(2) ☆	262		2		
	近現代文化講義(1) ☆	262		2		
	近現代文化講義(2) ☆	262		2		
	現代芸術論(1) ☆	262		2		
	現代芸術論(2) ☆	262		2		

音楽芸術学科

9 声楽コース 課程表

科目名の★印は必修、☆印は選択必修
各科目区分の条件を満たし、70単位以上を修得すること

基礎科目				
10 単位必修				
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数		
		1年	2年	3年
芸術学 ★	262		2	
ソルフェージュ ★	262	2		
音楽理論 ★	262	2		
西洋音楽史 A ★	262		2	
西洋音楽史 B ★	262		2	

基幹科目				
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数		
		1年	2年	3年
管楽器奏法(1)	262	2		
管楽器奏法(2)	262	2		
管楽器奏法(3)	262		2	
管楽器奏法(4)	262		2	
管楽器奏法(5)	263			2
管楽器奏法(6)	263			2
管楽器奏法(7)	263			2
管楽器奏法(8)	263			2

基幹科目				
12単位コース必修 ピアノ奏法(1)～(8)・管楽器奏法(1)～(8)は履修不可				
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数		
		1年	2年	3年
ピアノ奏法(1)	262	2		
ピアノ奏法(2)	262	2		
ピアノ奏法(3)	262		2	
ピアノ奏法(4)	262		2	
ピアノ奏法(5)	263			2
ピアノ奏法(6)	263			2
ピアノ奏法(7)	263			2
ピアノ奏法(8)	263			2
声楽(1) ★	262	2		
声楽(2) ★	262	2		
声楽(3) ★	262		2	
声楽(4) ★	262		2	
声楽(5) ★	263			2
声楽(6) ★	263			2
声楽(7) ☆	263			2
声楽(8) ☆	263			2

演習科目				
4 単位必修				
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数		
		1年	2年	3年
音楽芸術学演習(1) ★	262	1		
音楽芸術学演習(2) ★	262	1		
音楽芸術学演習(3) ★	263			1
音楽芸術学演習(4) ★	263			1
卒業演奏・卒業作品・卒業論文 ☆	263			6

展開科目						
展開科目から40単位選択必修 (コース必修、●から4単位選択必修、▲から2単位選択必修、○から2単位選択必修、△から2単位選択必修を含む)						
授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
A群 (音楽理論/音楽実技)	和声	262	2			
	管弦楽編曲法	263	2			
	合唱編曲法	263	2			
	作曲学	263		2		
	指揮法	262	2			
	合唱唱法	262	2			
	合唱指導法	263	2			
	吹奏楽指導法	263		2		
	副科ピアノ奏法A	261	1			
	副科ピアノ奏法B	261	1			
	副科声楽(1) ※履修不可	262	1			
	副科声楽(2) ※履修不可	262	1			
	副科管楽器	261	1			
	ピアノアンサンブルA ※履修不可	262	2			
	ピアノアンサンブルB ※履修不可	262	2			
	室内アンサンブルA	263		2		
	室内アンサンブルB	263		2		
	オペラアンサンブル	263	2			
	ステージアクティング	263	2			
	オペラ演習	263		2		
	声楽アンサンブル	263		2		
	管楽アンサンブルA ※履修不可	263		2		
	管楽アンサンブルB ※履修不可	263		2		
	管楽アンサンブルC ※履修不可	263		2		
	管楽アンサンブルD ※履修不可	263		2		

展開科目					
授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数		
			1年	2年	3年
邦楽A	☆	261			1
邦楽B	☆	261			1
発音法	★	262	2		
自己表現トレーニング	☆	262	2		
演奏家のための身体感覚レッスン	☆	262		2	
ピアニストのための脱力法 ※履修不可		262		2	
声楽伴奏演習	☆	262		2	
ソリスト育成特別レッスンA(1)	☆	263		1	
ソリスト育成特別レッスンA(2)	☆	263		1	
ソリスト育成特別レッスンB(1)	☆	263			1
ソリスト育成特別レッスンB(2)	☆	263			1
ソリスト育成特別レッスンC(1)	☆	263			1
ソリスト育成特別レッスンC(2)	☆	263			1
ピアノ指導法(1)	☆	262		2	
ピアノ指導法(2)	☆	263		2	
ピアノ教室レッスン実習	☆	263		2	
ヤマハグレード取得講座A	☆	262	1		
ヤマハグレード取得講座B	☆	262	1		
ヤマハグレード取得講座C	☆	262	1		
ヤマハグレード取得講座D	☆	263	1		
ヤマハグレード取得講座E	☆	263	1		
ヤマハグレード取得講座F	☆	263	1		
ヤマハグレード取得講座G	☆	263	1		
ヤマハグレード取得講座H	☆	263		1	
ヤマハグレード取得講座I	☆	263		1	
古典舞踏	☆	262			2
リトミック	☆	262	2		

授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
B群 <small>(文化・鑑賞)</small>	ヨーロッパの文化と芸術 ▲	262		2		
	ドイツ語文化入門 ▲	261	2			
	フランス語文化入門 ▲	261	2			
	イタリア文化入門 ▲	261		2		
	イタリア語入門(1) ★	261		1		
	イタリア語入門(2) ★	261		1		
	西洋音楽史入門 ☆	261	2			
	西洋美術史 A ○	262	2			
	西洋美術史 B ○	262	2			
	音楽と文学 △	262			2	
	音楽と美術 △	263			2	
	日本音楽論 ☆	262			2	
	民族音楽論 ☆	262			2	
	音楽鑑賞 A ★	262	2			
	音楽鑑賞 B ★	263	2			
	邦楽鑑賞 ☆	261		2		

授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
C群 <small>(リバーラルアーツ)</small>	金城シネマ ☆	261		2		
	世界と日本のクラシック ☆	262		2		
	民族と芸術 ☆	262			2	
	地中海文化入門 ☆	261			2	
	中国語文化入門 ☆	261	2			
	日本語教育入門 ☆	262	2			
	日本語教授法 ☆	263		2		
	世界の日本語教育 ☆	263		2		
	Cross-Cultural Communication ☆	263		2		
	日本の多文化事情 ☆	262		2		
	英米文化研究 A ☆	262		2		
	英米文化研究 B ☆	262		2		
	英米文化研究 C ☆	262		2		
	英米文化研究 D ☆	262		2		
	英米文化研究 E ☆	262		2		
	英語語彙研究 ☆	262			2	
	英語意味研究 ☆	262			2	
	古典文化講読(1) ☆	262		2		
	古典文化講読(2) ☆	262		2		
	古典文学講読(1) ☆	262		2		
	古典文学講読(2) ☆	262		2		
	近現代文化講義(1) ☆	262		2		
	近現代文化講義(2) ☆	262		2		
	現代芸術論(1) ☆	262		2		
	現代芸術論(2) ☆	262		2		

音楽芸術学科

10 管楽器コース 課程表

科目名の★印は必修、☆印は選択必修
各科目区分の条件を満たし、70単位以上を修得すること

基礎科目					
10 単位必修					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
芸術学 ★	262		2		
ソルフェージュ ★	262	2			
音楽理論 ★	262	2			
西洋音楽史 A ★	262		2		
西洋音楽史 B ★	262		2		

基幹科目					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
管楽器奏法(1) ★	262	2			
管楽器奏法(2) ★	262	2			
管楽器奏法(3) ★	262		2		
管楽器奏法(4) ★	262		2		
管楽器奏法(5) ★	263			2	
管楽器奏法(6) ★	263			2	
管楽器奏法(7) ☆	263				2
管楽器奏法(8) ☆	263				2

基幹科目					
12単位コース必修 ピアノ奏法(1)~(8)・声楽(1)~(8)は履修不可					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
ピアノ奏法(1)	262	2			
ピアノ奏法(2)	262	2			
ピアノ奏法(3)	262		2		
ピアノ奏法(4)	262		2		
ピアノ奏法(5)	263			2	
ピアノ奏法(6)	263			2	
ピアノ奏法(7)	263				2
ピアノ奏法(8)	263				2
声楽(1)	262	2			
声楽(2)	262	2			
声楽(3)	262		2		
声楽(4)	262		2		
声楽(5)	263			2	
声楽(6)	263			2	
声楽(7)	263				2
声楽(8)	263				2

演習科目					
4 単位必修					
授業科目	科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
		1年	2年	3年	4年
音楽芸術学演習(1) ★	262	1			
音楽芸術学演習(2) ★	262	1			
音楽芸術学演習(3) ★	263				1
音楽芸術学演習(4) ★	263				1
卒業演奏・卒業作品・卒業論文 ☆	263				6

展開科目						
展開科目から40単位選択必修 (コース必修、■から4単位選択必修、▲から2単位選択必修、○から2単位選択必修、△から2単位選択必修を含む)						
授業科目			科目分類番号	開講基準年次及び単位数		
A群 (音楽理論/音楽実技)	和声	☆	262	2		
	管弦楽編曲法	☆	263	2		
	合唱編曲法	☆	263	2		
	作曲学	☆	263		2	
	指揮法	☆	262	2		
	合唱唱	☆	262	2		
	合唱指導法	☆	263	2		
	吹奏楽指導法	★	263		2	
	副科ピアノ奏法A	★	261	1		
	副科ピアノ奏法B	★	261	1		
	副科声楽(1)	★	262	1		
	副科声楽(2)	☆	262	1		
	副科管楽器 ※履修不可		261	1		
	ピアノアンサンブルA ※履修不可		262	2		
	ピアノアンサンブルB ※履修不可		262	2		
	室内アンサンブルA	☆	263		2	
	室内アンサンブルB	☆	263		2	
	オペラアンサンブル	☆	263	2		
	ステージアクティング	☆	263	2		
	オペラ演習	☆	263		2	
	声楽アンサンブル	☆	263		2	
	管楽アンサンブルA	■	263		2	
	管楽アンサンブルB	■	263		2	
	管楽アンサンブルC	■	263		2	
	管楽アンサンブルD	■	263		2	

展開科目						
授業科目			科目分類番号	開講基準年次及び単位数		
	1年	2年	3年	4年		
邦楽A	261		1			
邦楽B	261		1			
発音法	262	2				
自己表現トレーニング	262	2				
演奏家のための身体感覚レッスン	262		2			
ピアニストのための脱力法 ※履修不可	262		2			
声楽伴奏演習	262		2			
ソリスト育成特別レッスンA(1)	263		1			
ソリスト育成特別レッスンA(2)	263		1			
ソリスト育成特別レッスンB(1)	263		1			
ソリスト育成特別レッスンB(2)	263		1			
ソリスト育成特別レッスンC(1)	263			1		
ソリスト育成特別レッスンC(2)	263			1		
ピアノ指導法(1)	262		2			
ピアノ指導法(2)	263		2			
ピアノ教室レッスン実習	263		2			
ヤマハグレード取得講座A	262	1				
ヤマハグレード取得講座B	262	1				
ヤマハグレード取得講座C	262	1				
ヤマハグレード取得講座D	263	1				
ヤマハグレード取得講座E	263	1				
ヤマハグレード取得講座F	263	1				
ヤマハグレード取得講座G	263	1				
ヤマハグレード取得講座H	263		1			
ヤマハグレード取得講座I	263		1			
古典舞踏	262			2		
リトミック	262	2				

授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
B群 (文化・鑑賞)	ヨーロッパの文化と芸術 ▲	262		2		
	ドイツ語文化入門 ▲	261	2			
	フランス語文化入門 ▲	261	2			
	イタリア文化入門 ▲	261		2		
	イタリア語入門(1) ☆	261		1		
	イタリア語入門(2) ☆	261		1		
	西洋音楽史入門 ☆	261	2			
	西洋美術史 A ○	262	2			
	西洋美術史 B ○	262	2			
	音楽と文学 △	262			2	
	音楽と美術 △	263			2	
	日本音楽論 ☆	262			2	
	民族音楽論 ☆	262			2	
	音楽鑑賞 A ☆	262	2			
	音楽鑑賞 B ☆	263	2			
	邦楽鑑賞 ☆	261		2		

授業科目		科目分類番号	開講基準年次及び単位数			
			1年	2年	3年	4年
C群 (リベラルアーツ)	金城シネマ ☆	261		2		
	世界と日本のクラシック ☆	262		2		
	民族と芸術 ☆	262			2	
	地中海文化入門 ☆	261			2	
	中国語文化入門 ☆	261	2			
	日本語教育入門 ☆	262	2			
	日本語教授法 ☆	263		2		
	世界の日本語教育 ☆	263		2		
	Cross-Cultural Communication ☆	263		2		
	日本の多文化事情 ☆	262		2		
	英米文化研究 A ☆	262		2		
	英米文化研究 B ☆	262		2		
	英米文化研究 C ☆	262		2		
	英米文化研究 D ☆	262		2		
	英米文化研究 E ☆	262		2		
	英語語彙研究 ☆	262			2	
	英語意味研究 ☆	262			2	
	古典文化講読(1) ☆	262		2		
	古典文化講読(2) ☆	262		2		
	古典文学講読(1) ☆	262		2		
	古典文学講読(2) ☆	262		2		
	近現代文化講義(1) ☆	262		2		
	近現代文化講義(2) ☆	262		2		
	現代芸術論(1) ☆	262		2		
	現代芸術論(2) ☆	262		2		

1 中高免教職課程について

[1] 教職課程とは？

中学校や高校で授業を行うためには教員免許状が必要です。その取得のために必要な科目を開講し、教職課程を設けています。教育職員免許法や教育職員免許法施行規則等に定められた単位を修得することで、卒業時に教員免許状を取得できます。

教職に関心がある学生は、1年次から「教科に関する科目」と「教職に関する科目」を履修してください。教職課程の申し込みは2年生の秋、教育実習の申し込みは3年生（薬学部は5年生）の春に行います。自信を持って教えられるように、教科と教職の両方の専門性を伸ばす努力をしてください。

本学の中高免教職課程を履修することにより授与される免許状の種類等は、次の通りです。私たち、中高免教職課程担当教員、職員は金城学院大学卒業生が一人でも多く、教育現場の教壇に立つことを願っています。

学 部	学 科	免許状の種類	免許教科
文学部	日本語日本文化学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国 語 国 語 書 道
	英語英米文化学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英 語 英 語
	外国語コミュニケーション学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英 語 英 語
	音楽芸術学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	音 楽 音 楽
生活環境学部	生活マネジメント学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	家 庭 家 庭 情 報
	環境デザイン学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	家 庭 家 庭
	食環境栄養学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	家 庭 家 庭
国際情報学部	国際情報学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社 会 地理歴史 公 民
		高等学校教諭一種免許状	情 報
人間科学部	現代子ども学科	中学校教諭一種免許状	英 語
	多元心理学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社 会 公 民
	コミュニティ福祉学科	高等学校教諭一種免許状	福 祉
薬学部	薬学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	理 科 理 科

[2] 教職課程の履修に必要な単位

教育職員免許状を取得するためには、基礎資格として学士の資格を有することが必要です。つまり、所定の単位を修得して本学を卒業することが前提となります。

その上で、教職課程の履修には教育職員免許法施行規則に定める、次の4種類の科目の修得が必要です。最低修得単位数は教育職員免許法施行規則に定められた最低修得単位数であり、本学で修得しなければならない単位数については後掲の表を参照してください。

免許法施行規則に定める科目区分	最低修得単位数	
	中一種	高一種
①教科に関する科目	2 0	2 0
②教職に関する科目	3 1	2 3
③教科又は教職に関する科目	8	1 6
④教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	8	8
合 計	6 7	6 7

1) 教科に関する科目

日本語日本文化学科

中一種免「国語」・高一種免「国語」

免許法施行規則に定める科目区分 科 目	単位数	左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数			
		必 修 科 目		選 択 科 目	
国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	20	日本語学入門	1年 2	日本語学講読(1)	2年 2
		日本語学概論(1)	2年 2	日本語学講読(2)	2年 2
		日本語学概論(2)	2年 2	日本語史(1)	1年 2
		日本語学講義A	2年 2	日本語史(2)	1年 2
				日本語学講義B	2年 2
				日本語学講義C	2年 2
				日本語学講義D	2年 2
				日本語字講義E	2年 2
				日本語字特殊講義A(1)	3・4年 2
				日本語字特殊講義A(2)	3・4年 2
国文学 (国文学史を含む。)	20	古典文化入門	1年 2	古典文学講読(1)	2年 2
		近現代文化入門	1年 2	古典文学講読(2)	2年 2
		日本文化演習(1)	2年 1	近現代文学講読(1)	2年 2
		日本文化演習(2)	2年 1	近現代文学講読(2)	2年 2
		日本文化演習(3)	3年 1	古典文化講義(1)	2年 2
		日本文化演習(4)	3年 1	古典文化講義(2)	2年 2
		古典文学概論	2年 2	近現代文化講義(1)	2年 2
		近現代文学概論	2年 2	近現代文化講義(2)	2年 2
		古典文学史	1年 2	古典特殊講義A(1)	3・4年 2
		近現代文学史	1年 2	古典特殊講義A(2)	3・4年 2
漢文学				古典特殊講義B(1)	3・4年 2
				古典特殊講義B(2)	3・4年 2
				近現代特殊講義A(1)	3・4年 2
				近現代特殊講義A(2)	3・4年 2
				近現代特殊講義B(1)	3・4年 2
※中一種：書道 (書写を中心とする。)				近現代特殊講義B(2)	3・4年 2
		漢文学概論(1)	2年 2	日本書誌学(1)	3・4年 2
		漢文学概論(2)	2年 2	日本書誌学(2)	3・4年 2
		書道A	1年 1	比較文化・文学理論A	3・4年 2
				比較文化・文学理論B	3・4年 2

※書道の教科は高一種「国語」の教科に使用できません。

日本語日本文化学科

高一種免「書道」

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数		
科 目	単位数	必 修 科 目	選 択 科 目	
書道 (書写を含む。)		書道A 1年 1		
		書道B 1年 1		
		書道C 2年 1		
		書道D 2年 1		
書道史 「書論、鑑賞」 「国文学、漢文学」	20	書道史 2年 2		
		書論 2年 2		
		古典文化入門 1年 2	古典文学講読 (1) 2年 2	
		日本文化演習 (1) 2年 1	古典文学講読 (2) 2年 2	
		日本文化演習 (2) 2年 1	古典文学史 1年 2	
		日本文化演習 (3) 3年 1	近現代文学史 1年 2	
		日本文化演習 (4) 3年 1	古典文化講義 (1) 2年 2	
		古典文化概論 2年 2	古典文化講義 (2) 2年 2	
		古典文学概論 2年 2	古典特殊講義 A (1) 3・4年 2	
		漢文学概論 (1) 2年 2	古典特殊講義 A (2) 3・4年 2	
		漢文学概論 (2) 2年 2	古典特殊講義 B (1) 3・4年 2	
			古典特殊講義 B (2) 3・4年 2	
			日本書誌学 (1) 3・4年 2	
			日本書誌学 (2) 3・4年 2	
			古典文化史 1年 2	
			古典芸術論 (1) 3・4年 2	
			古典芸術論 (2) 3・4年 2	
			日本美術史 (1) 3・4年 2	
			日本美術史 (2) 3・4年 2	
			現代芸術論 (1) 2年 2	
			現代芸術論 (2) 2年 2	
			日本文化創造 A 3・4年 2	
			日本文化創造 B 3・4年 2	
			漢文学史 2年 2	
			漢文学講読 2年 2	

英語英米文化学科

中一種免「英語」・高一種免「英語」

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数		
科 目	単位数	必 修 科 目	選 抹 科 目	
英語学		英語研究入門A 1年 2	英語構造研究 (1) 2年 2	
		英語研究入門B 1年 2	英語構造研究 (2) 2年 2	
			英語音声研究 (1) 2年 2	
			英語音声研究 (2) 2年 2	
			英語学特殊研究A 3・4年 2	
			英語学特殊研究B 3・4年 2	
英米文学		英米文学の世界 1年 2	イギリス文学概論 2年 2	
			アメリカ文学概論 2年 2	
英語コミュニケーション	20	English Grammar (1) 1年 1	Listening/Pronunciation (1) 1年 1	
		English Grammar (2) 1年 1	Listening/Pronunciation (2) 1年 1	
		Business Communication (1) 1年 1	Extensive English (1) 2年 1	
		Business Communication (2) 1年 1	Extensive English (2) 2年 1	
		Reading/Writing (1) 1年 1	Reading/Writing (3) 2年 1	
		Reading/Writing (2) 1年 1	Reading/Writing (4) 2年 1	
		Speaking/Writing (1) 1年 1	Speaking/Writing (5) 3年 1	
		Speaking/Writing (2) 1年 1	Speaking/Writing (6) 3年 1	
		Speaking/Writing (3) 2年 1	Speaking/Writing (7) 4年 1	
		Speaking/Writing (4) 2年 1	Speaking/Writing (8) 4年 1	
		Reading/Writing (5) 3年 1	Business Communication (3) 2年 1	
		Reading/Writing (6) 3年 1	Business Communication (4) 2年 1	
		Reading/Writing (7) 4年 1	Business Communication (5) 3年 1	
		Reading/Writing (8) 4年 1	Business Communication (6) 3年 1	
			言語コミュニケーション理論A 2・3年 2	
			言語コミュニケーション理論B 2・3年 2	
異文化理解		英語圏文化入門 1年 2	イギリス文化概論 2年 2	
			アメリカ文化概論 2年 2	

外国語コミュニケーション学科

中一種免「英語」・高一種免「英語」

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数				
科 目	単位数	必 修 科 目	選 択 科 目			
英語学	20	英語学	2年 2	世界の英語	3年 2	
		Grammar (1)	1年 1	英語学特殊研究A	3年 2	
		Grammar (2)	1年 1	英語学特殊研究B	3年 2	
		英米文学の世界	2年 2	イギリス文学概論	2年 2	
				アメリカ文学概論	2年 2	
		Reading (1)	1年 1			
		Reading (2)	1年 1			
		Conversation (1)	1年 1			
		Conversation (2)	1年 1			
		TOEIC Intermediate (1)	2年 1			
英語コミュニケーション		TOEIC Intermediate (2)	2年 1			
		Reading and Writing (1)	2年 1			
		Reading and Writing (2)	2年 1			
		Oral Presentation (1)	2年 1			
		Oral Presentation (2)	2年 1			
		日英文化研究A	3年 2	Cross-Cultural Communication	2年 2	
		日英文化研究B	3年 2	社会言語学研究	2・3年 2	
		日米文化研究A	3年 2	異文化理解A	2・3年 2	
		日米文化研究B	3年 2	異文化理解B	2・3年 2	
				イギリス文化概論	2年 2	
				アメリカ文化概論	2年 2	
異文化理解						

音楽芸術学科

中一種免「音楽」・高一種免「音楽」

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する本学開設授業科目、開講基準年次及び単位数				
科 目	単位数	必 修 科 目	選 抹 科 目			
ソルフェージュ	20	ソルフェージュ	1年 2			
		合唱	1年 2	声楽 (1)	※ 2 1年 2	
		邦楽B	3年 1	声楽 (2)	※ 2 1年 2	
				副科声楽 (1)	※ 1, 3 1年 1	
		邦楽A	3年 1	ピアノ奏法 (1)	※ 1 1年 2	
				ピアノ奏法 (2)	※ 1 1年 2	
				声楽伴奏演習	※ 1 2年 2	
				副科ピアノ奏法A	※ 2, 3 1年 1	
				副科ピアノ奏法B	※ 2, 3 1年 1	
				管楽器奏法 (1)	※ 3 1年 2	
器楽				管楽器奏法 (2)	※ 3 1年 2	
				副科管楽器	※ 1, 2 2年 1	
				管楽アンサンブルB	※ 4 2・3年 2	
				管楽アンサンブルC	※ 4 2・3年 2	
		指揮法	2年 2			
		音楽理論	1年 2	合唱編曲法	2年 2	
		作曲学	3年 2	西洋音楽史入門	1年 2	
		管弦楽編曲法	2年 2	音楽鑑賞A	1年 2	
		日本音楽論	3年 2	音楽鑑賞B	1年 2	
		民族音楽論	3年 2	邦楽鑑賞	2年 2	
音楽理論、作曲法		西洋音楽史A	2年 2			
		西洋音楽史B	2年 2			

備考：選択科目のうち、ピアノコースの学生は※ 1、声楽コースの学生は※ 2、管楽器コースの学生は※ 3を修得してください。また、管楽器コースの学生は※ 4から1科目2単位を修得してください。

2) 教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等			左記に対応する開設授業科目	開講基準年次及び単位数				履修方法
科 目	左項の各科目に含めることが必要な事項	単位数		1 年	2 年	3 年	4 年	
教職の意義等に関する科目	・教職の意義及び教員の役割 ・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む。） ・進路選択に資する各種の機会の提供等	2	教職入門	2				必修
教育の基礎理論に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	学校と教育の歴史	2				必修
	・児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある児童、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		発達と学習	2				必修
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		教育制度論 障害者教育論	2 2				必修 選択
教育課程及び指導法に関する科目	・教育課程の意義及び編成の方法	中12 高 6	教育課程論		2			必修
	・各教科の指導法		国語科指導法A	4				必修
			国語科指導法B		2			選択必修
			国語科指導法C		2			選択必修
			書道科指導法	4				必修
			英語科指導法A	4				必修
			英語科指導法B		2			必修
			英語科指導法C		2			必修
			音楽科指導法A	4				必修
			音楽科指導法B		2			選択必修
			音楽科指導法C		2			選択必修
	・道徳の指導法		道徳教育の理論と方法		2			※ 2
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	・特別活動の指導法		特別活動の指導法		2			必修
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		教育方法の理論と実践	2				必修
			教育の方法と技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		2			必修
	・生徒指導の理論及び方法	4	生徒指導の理論と方法		2			必修
	・進路指導の理論及び方法		教育相談	2				必修
教育実習		中 5 高 3	教育実習A 教育実習B			5 3		選択必修 ※ 3
教職実践演習		2	教職実践演習（中高）				2	必修

備考 1：教育実習の履修以前に、教育実習を除く教職に関する科目の必修科目を履修しておくこと（「教職実践演習」を除く）。後述〔3〕(8)を参照してください。

2：※ 1は、取得希望する免許教科の「××科指導法」を履修方法に従い、中一種においては 6 単位、高一種においては 4 単位、ただし、英語科においては 8 単位（後述〔3〕(8)を参照してください。）を必修。他の免許教科の「××科指導法」を「教職に関する科目」として使用することはできません。

3：※ 2 は、中一種においては必修、高一種においては選択。

4：※ 3 は、後述の〔3〕を参照してください。

3) 教科又は教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分	単位数	左記に対応する開設授業科目	開講基準年次及び単位数				履修方法
			1年	2年	3年	4年	
教科又は教職に関する科目	高16 中8	道徳教育の理論と方法 情報教育論			2		備考2
					2		

備考1：教育職員免許法施行規則で定められた、免許状取得に必要な最低修得単位数を超えて修得した「教職に関する科目」と「教科に関する科目」の単位は、「教科又は教職に関する科目」の単位として使用することができます。ただし、他の免許教科のために設けられている「教科に関する科目」と「教職に関する科目」の単位は、「教科又は教職に関する科目」の単位に使用することはできません。

2：「道徳教育の理論と方法」は、高一種においては、選択。中一種においては、「教科又は教職に関する科目」として使用することはできません。

4) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分等	単位数	左記に対応する開設授業科目	開講基準年次及び単位数				履修方法
			1年	2年	3年	4年	
・日本国憲法	2	日本国憲法	2				必修
		健康科学	2				必修
		スポーツ・アンド・エクササイズA	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズB	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズC	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズD	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズE	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズF	1				
		スポーツ・アンド・エクササイズG	1				
・体育	2	英語コミュニケーションA(1) 英語コミュニケーションA(2)	1				日本語日本文化学科 および音楽芸術学科 必修
		ドイツ語会話(1)	1				
		ドイツ語(1)	1				
		フランス語会話(1)	1				
		フランス語(1)	1				
		スペイン語会話(1)	1				
		スペイン語(1)	1				
		中国語会話(1)	1				
		中国語(1)	1				
		韓国・朝鮮語会話(1)	1				
		韓国・朝鮮語(1)	1				
		Grammar (1)	1				英語英米文化 学科 2単位選択必 修
		Grammar (2)	1				
・情報機器の操作	2	情報リテラシー	2				必修

〔3〕教育実習

教職に関する科目の一つである教育実習は、教育現場における体験を通じて、教育についての深い理解と強い熱意をつちかい、真によき教育者としての素地をつくることを目的として行われます。実習生は、実際に教壇に立つとともに、生徒へのさまざまな指導、学級の経営と管理、校務などの実習を行います。

教育実習に関しては、次の点に注意してください。

- (1) 中学校免許取得のためには、「教育実習A」5単位（実習は原則として3週間4単位と事前・事後指導1単位）、高等学校免許取得のためには、「教育実習B」3単位（実習2週間2単位と事前・事後指導1単位）または「教育実習A」のいずれかの履修が必要です。
- (2) 実習先は、原則として中学校または高等学校、あるいはその両方です。いずれの場合も、本学で取得できる中学校・高等学校のすべての免許に有効です。
- (3) 複数の教科の免許を取得しようとする場合にも、実習はいずれかの教科で1回行えば十分です。
- (4) 教育実習は、実習校の協力を得て行われるもので、実習生は、実習校に迷惑をかけることのないよう、しっかりした決意と十分な配慮をもって取り組まなくてはなりません。
- (5) 教育実習に先立って、教育実習履修申込みオリエンテーションを行います。このオリエンテーションで教育実習についての認識を深め、慎重に検討した上で教育実習を希望する者は、所定の期間内に必要な書類を添えて履修支援センターに申し込んでください。
- (6) 教育実習期間の前後に数回の事前・事後指導を行います。また、教育実習後には、所定のレポートを提出しなければなりません。教育実習の履修には、事前指導・事後指導への出席とレポートの提出も含まれます。
- (7) 教育実習は教員を志す者にのみ認められます。教育実習を希望する者は、教員採用試験（愛知県・名古屋市など）を受験することを原則とします（中学校・高等学校が実施する事前指導で、教員採用試験を受けない学生は実習をとりやめるように言われたケースがあります）。また、教育実習や教員採用試験の時期は企業などへの就職活動の時期と重なりますが、企業などへの就職活動についての配慮はいっさい認められませんので、注意してください。
- (8) 教育実習の際に必要な知識を習得しておくために、教育実習の履修以前に、教育実習を除く「教職に関する科目」の必修科目をすべて履修していかなければなりません（「教職実践演習」を除く）。また、取得希望する免許教科の「××科指導法」を、中一種においては6単位、高一種においては4単位を履修していかなければなりません。なお、教育実習への準備を十分に行うために「××科指導法」が選択必修の場合であっても、全て履修することを強く推奨します。
- (9) 教育実習では実際の授業の場で生徒に指導するため、十分な力量を備えて実習に臨む必要があります。本学では、以下に示す「1. 教職に関する科目に関する条件」と「2. 教科に関する科目に関する条件」の両方を満たす場合に教育実習の履修を認めることにしています。なお、履修カルテ等によって教育実習に向けた準備状況を把握し、不十分であると判断された学生には課題への取り組みを義務づけます。改善が見られない場合は履修を認めないこともあります。

1. 「教職に関する科目」に関する条件

次のいずれかを満たすこと。

- ① 原則として、教育実習履修前年度終了時までに必修科目をすべて履修し、かつ、18単位以上取得していること。ただし、「各教科の指導法」に関する科目（××科指導法）は、教育実習で担当する科目に関するもののみをこの条件の対象科目とする。
- ② キャリアアップ講座が実施する教員採用試験模試の「教職科目」（教職教養等の名称）の試験の得点が50%以上の結果を、一度以上得ていること（ただし自宅受験した場合の成績は対象としない）。

* 留学等によって、①の条件を満たすことができない学生は次のように対応する。留学へ行く場合は、4年次（薬学部6年次）卒業までに教職課程に必要な単位をすべて取得できる見込みがある場合にのみ、4年次（薬学部6年次）における教育実習履修を認めることとする。その際、原則として、教育実習履修前年度末までに、教職に関する科目6科目以上を履修し、12単位以上（○○科指導法Aまたは○○科指導法を含む）を取得していることを条件とする。

2. 「教科に関する科目」に関する条件

次のいずれかを満たすこと。

- ① 教育実習前年度終了時点における教育実習で担当する科目の教科に関する科目のGPAが2.5以上であること。
- ② キャリアアップ講座が実施する教員採用試験模試の「専門科目」（教育実習で担当する科目）の得点率が50%以上の結果を一度以上、得ていること（ただし自宅受験した場合の成績は対象としない）。
- ③ 教科の専門的知識・技能があると認められる資格等を取得していること。

英語：英検2級以上、TOEIC500点以上、TOEFL470点以上、またはこれらと同等以上の資格のいずれか

家庭：消費者力検定「応用コース」3級以上

情報：ITパスポート試験、基本情報技術者試験、マルチメディア検定エキスパートのいずれかに合格していること

音楽：音楽芸術学科が主催する定期演奏会の出場経験、またはそれと同等以上と認められる演奏会への出場経験

理科：薬学共用試験に合格していること

その他、各学科から提案のあった資格、入賞経験等を有し、大学教職課程委員会が認めた場合。

* 上記1、2の条件は、編入生、科目等履修生に関しては、理科のみ2015年度教育実習から、他の教科は2013年度教育実習から、この条件を適用している。ただし、学内模試を受験できない等の事情がある編入生、科目等履修生は、課題に取り組ませた上で、学力確認試験等を実施して、教育実習履修の可否を判断するものとする。

[4] 「介護等体験」について

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」により、中学校教諭の免許状を取得しようとする場合に、特別支援学校および社会福祉施設等で7日間以上にわたる「介護等体験」を行うことが必要です。大学が斡旋する施設等に行って所定の活動を行う必要があります。大学による斡旋は、3年次に行う予定です。説明会等を2年次から行いますので注意してください。ただし、すでに介護等体験にあたる資格を有している者は、体験をする必要がない場合がありますので、履修支援センターで相談してください。

なお、3年次の夏休みを中心とした時期に介護等体験の予定が入りますので、この時期には海外語学研修等に参加することはできません。また、その他のいかなる予定も介護等体験の日程が決まってから計画するようにしてください。

ただし、原則として、正式な授業と認められるもの（例：集中講義、幼稚園教育実習、病院及び薬局実務実習など）及び、学科の専門領域と密接に関連があり、かつ、教育実習に向けた準備の上でも有益であると考えられる学科主催の公式行事である場合、また、履修要覧で定めている「欠席」とみなさな

い場合の条件、大学9頁〔5〕②eに該当する可能性があり、「配慮すべき日数」が数日に留まるものの場合には日程調整を行います。日程が明確となっている場合は、所定の期日までに申告してください。

なお、「配慮すべき日数」が数日に留まるもののうち当該学科からの要請によって大学教職課程委員会が承認した場合は、決められた期日までに申し出したことにより日程調整を行うことがあります。学科の行事等が予定されている場合は自学科の教員と自学科担当の教職課程担当教員に相談してください。

ただし、施設や学校の受け入れ側の都合で、希望に添う日程に調整することは保証できませんので、ご承知ください。

〔5〕教職課程関係の連絡とスケジュール

教職課程の履修に関しては、教育実習、介護等体験、教員免許状の申請、各種オリエンテーションなど、さまざまな手続きが必要です。これらについての連絡はK-PORT（学生ポータルサイト）・manaba等によって行いますので、教職課程の履修を希望する者はつねに注意してください。なお、教職課程に関する質問や相談は、履修支援センターで受け付けます。

教職課程に関して、4年間の主なスケジュールは次の通りです。

1年次	4月	教職課程ガイダンス（新入生オリエンテーション内）
2年次	7月	教職課程履修申込みオリエンテーション（履修希望者全員）
	10月	介護等体験申込みオリエンテーション（中学校免許状取得希望者）
	11月	教員採用試験オリエンテーション
	12月	学内模試（各自申込） 教員採用試験対策講座
	4月	教育実習履修（次年度）申込みオリエンテーション及び介護等体験日程調整
3年次	4月・5月	学内模試（各自申込）
	5月～6月	教育実習希望校への内諾依頼
	7月～	介護等体験事前指導（全2回）
	8月～12月	介護等体験
	10月	第1回教育実習事前指導
	11月	教員採用試験オリエンテーション
	12月	学内模試（各自申込） 教員採用試験対策講座
	4月～5月	第2～7回教育実習事前指導
4年次	4月・5月	学内模試（各自申込）
	5月中旬	名古屋市教育委員会採用試験説明会
	5月～6月	教育実習A（原則として3週間）、教育実習B（2週間） *一部の学校では9月～10月になります
	7月上旬	教育実習事後指導
	7月中旬	教員採用試験・一次試験（愛知県・名古屋市他全員受験）
	8月	教員採用試験・二次試験（愛知県・名古屋市他）
	9月	教員免許状一括申請学内申込み
	11月	教員免許状申請書類記入
	3月（学位記授与式当日）	免許状交付

＜教員採用試験模擬試験＞

本学では、中高免教職課程において教育実習を行う者は、教員採用試験を受験することを原則とします。これは教育委員会から、教育実習の受け入れ条件として教員になる希望を持って、採用試験を受験することが条件として示されているためです。この条件は、教育現場において授業を担当する以上、しっかりと専門的な知識技能と教職への希望を持って子どもへの指導にあたって欲しいとい

う教育現場からの声を反映させたものであると本学では理解しています。そのため、2年次12月から4年次5月にかけて、キャリア・アップ講座に設けられている模擬試験（学内模試）を受験することを推奨しています。教員採用試験は、試験範囲が広く、長期的な展望を持って準備しないと、合格は容易ではありません。長期的な学習計画を立て、模擬試験をペースメーカーとして、教育実習と採用試験に備えてください。

注1) 教員採用試験対策講座受講者は、専門科目の模擬試験が受験できます。詳しくはキャリア・アップ講座の窓口にお問い合わせください。

<教員採用試験>

公立中学校・高等学校の教員採用試験は、毎年夏に行われます。前述のように、本学では、教員採用試験の受験を教育実習を行うための条件にしています。また、多くの教育委員会で、教育実習の期間前や期間中に教員採用試験受験申し込み締め切りを設定しているため、教育実習前に教員採用試験の受験申し込みを済ませてください。なお、私学の教員採用については、応募や試験の形態が様々であるため、私学教員を志す場合は、各自で情報収集をするとともに、各学部・各学科担当の教職課程委員の教員に相談をしてください。

<教員免許状の申請>

教員免許状の申請は、大学が一括して愛知県教育委員会に対して行います。4年次の9月に申請手続きを履修支援センター窓口で行います。なお申請時に手数料が別途必要です。期限内に手続きをしない場合は、一括申請から除外されますので、行事予定やK-PORTを十分に注意し、指示に従ってください。

[6] 課程履修費等について

本課程を履修するには学納金とは別に課程履修費等が必要です。課程履修費は、2,500円（3年次後期）、16,600円（4年次前期）です。なお、実習の際には学研災付帯賠償責任保険料210円が必要です。

また、中学校教諭の免許状取得希望者は、介護等体験履修費として10,600円（3年次前期）、実習の際には学研災付帯賠償責任保険料210円が必要です。

徴収方法は学納金口座からの引き落としとなります。引き落としに際しては事前にご案内致します。

1 学校図書館司書教諭資格について

司書教諭は、教諭として採用された者が学校内の役割としてその職務を担当し、学校図書館資料の選択・収集・提供や子どもの読書活動に対する指導等を行うなど、学校図書館の運営・活用について中心的な役割を担います。

司書教諭になるためには、小学校、中学校、高等学校の教諭の免許状を取得するとともに、本学で次の表の必要な科目を修得し卒業後に申請を行うか、所定の機関で司書教諭講習を受講することで取得できます。

必修科目	科 目 (法令上の科目)	相 当 科 目 (大学における開講科目)	開講基準年次及び単位数				備考
			1 年	2 年	3 年	4 年	
	学校経営と学校図書館	学校経営と学校図書館			2		
	学校図書館メディアの構成	学校図書館メディアの構成			2		
	学習指導と学校図書館	学習指導と学校図書館			2		
	読書と豊かな人間性	読書と豊かな人間性			2		
	情報メディアの活用	情報メディアの活用			2		

2 司書資格について

現代人は情報の洪水の中で生活していると言われます。司書の仕事は、図書館の専門的職員として、こうした情報環境の中で、人と必要な情報を結びつけ、また文化の再生産に寄与することでもあります。

司書資格を取得するには、「図書館法施行規則第1条」に基づき、次の表にしたがって各科目の単位を修得することが必要です。

科目の内容は公共図書館を中心としています。情報環境は激しく変化していきますが、公共図書館をよく理解することで基本能力が身につき、館種を越え、多様な情報メディアにも対応できると考えます。

必修科目	科 目 (法令上の科目)	単位数	相 当 科 目 (大学における開講科目)	開講基準年次及び単位数				備考
				1 年	2 年	3 年	4 年	
	生涯学習概論	2	生涯学習概論		2			
	図書館概論	2	図書館概論		2			
	図書館制度・経営論	2	図書館制度・経営論			2		
	図書館情報技術論	2	図書館情報技術論		2			
	図書館サービス概論	2	図書館サービス概論		2			
	情報サービス論	2	情報サービス論		2			
	児童サービス論	2	児童サービス論			2		
	情報サービス演習	2	情報サービス演習(1) 情報サービス演習(2)			1	1	
	図書館情報資源概論	2	図書館情報資源概論		2			
	情報資源組織論	2	情報資源組織論			2		
	情報資源組織演習	2	情報資源組織演習(1) 情報資源組織演習(2)			1	1	
選択必修科目 <small>(相当科目のうち 2科目以上選択必修)</small>	図書館基礎特論	1	図書館基礎特論		2			
	図書館サービス特論	1	図書館サービス演習			1		
	図書館情報資源特論	1	図書館情報資源特論		2			
	図書・図書館史	1	図書・図書館史		1			
	図書館施設論	1	図書館施設論		1			
	図書館実習	1						
選 択 科 目	図書館総合演習	1	卒業論文演習(1)				1	※
			卒業論文演習(2)				1	

※「卒業論文演習(1)(2)」は、日本語日本文化学科生のみ履修可。また、薬師院はるみ先生の「卒業論文演習(1)(2)」に限ります。

3 博物館学芸員資格について

博物館、美術館、民俗資料館などには専門職員として学芸員を置くことが義務づけられています（博物館法第4条第3項）。学芸員は博物館において資料の収集、保管、展示や調査・研究などの専門的な仕事に従事します。

学芸員の資格を取得するためには、「学士の学位を有し、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得する」（博物館法第5条第1項）ことが必要です。資格取得については次の表にしたがって科目を履修してください。

「博物館実習(2)」は4年次に1週間行われます。実習先は原則的には大学の方で依頼・確定しますが、実習可能な館は少なく、また実習自体も大変難しく厳しいものです。したがって、博物館実習に参加する前に各自においても、相応の学習が望まれます。なんとなく資格をと思っている学生では実習できません。また、実習中に学生側の責任で問題が生じた場合には実習を中止させることができます。

いずれにしても事前に十分な準備が欠かせません。

どうして学芸員になりたいのか、どういう学芸員になりたいのか、ということについて明確な目的意識をもち、しっかりした心構えで望むことが必要です。

	科 目 (法令上の科目)	単位数	相 当 科 目 (大学における開講科目)	開講基準年次及び単位数				備考	
				1年	2年	3年	4年		
必 修 科 目	生涯学習概論	2	生涯学習概論		2				
	博物館概論	2	博物館概論		2				
	博物館経営論	2	博物館経営論			2			
	博物館資料論	2	博物館資料論		2				
	博物館資料保存論	2	博物館資料保存論		2				
	博物館展示論	2	博物館展示論		2				
	博物館教育論	2	博物館教育論			2			
	博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論			2			
	博物館実習	3	博物館実習(1) 博物館実習(2)			2	1		
選 択 必 修 科 目	文化史	2 系 列 8 单 位 以 上	古典文化史		2				
			近現代文化史		2				
			古典文化講読(1)			2			
			古典文化講読(2)			2			
			近現代文化研究(1)			2			
			近現代文化研究(2)			2			
			古典芸術論(1)			2			
			古典芸術論(2)			2			
	美術史		日本美術史(1)				2		
			日本美術史(2)				2		
			西洋美術史A		2				
			西洋美術史B		2				
	民俗学		現代芸術論(1)			2			
			現代芸術論(2)			2			
			日本民俗学(1)				2		
			日本民俗学(2)				2		
			古典特殊講義B(1)				2		
			古典特殊講義B(2)				2		

※課程履修について

本課程を履修するには学納金とは別に課程履修費が必要です。課程履修費は6,000円（3年次後期）、14,000円（4年次前期）です。

徴収方法は学納金口座からの引き落としとなります。引き落としに際しては事前にご案内致します。



**UNIVERSITY
ACCREDITED**
2015.4~2022.3

本学は、2014年度に実施された公益財団法人大学基準協会による大学評価(認証評価)を受けた結果、大学基準に適合しているとの認定を受けました。このマークは、それを証するものです。

公益財団法人大学基準協会とは：

1947年に、「内外の大学に関する調査研究を行い、会員の自主的努力と相互的援助によって、わが国における大学の質的向上を図るとともに、大学教育の国際的協力に貢献することを目的とする。」として創設された、国・公・私立の大学を会員校とする団体で、2015年度現在正会員として352校が加盟しています。

履修要覧

2017年度

2017年4月 発行

編集／発行 金城学院大学履修支援センター

〒463-8521 名古屋市守山区大森二丁目1723番地

T E L (052) 798-0180

URL <http://www.kinjo-u.ac.jp>